

- 問1 鎌倉時代に国ごとに置かれた役職と、荘園や公領ごとに置かれた役職の説明として正しい組み合わせを選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|--|-----------------------------|
| 1. 守護は京都の警備を行い、地頭は外交交渉を担当した。 | 2. 守護は年貢の徴収を行い、地頭は天皇の護衛を行った。 | 3. 守護は警察や軍事の仕事をを行い、地頭は年貢の徴収や土地の管理を行った。 | 4. 守護は裁判のみを行い、地頭は軍事全般を指揮した。 |
|------------------------------|------------------------------|--|-----------------------------|
- 問2 北条泰時が、武士の社会における慣習や道徳を整理して「御成敗式目」を制定した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 天皇や貴族の生活を厳しく制限し、幕府が朝廷を完全に支配するため | 2. 将軍の跡継ぎ問題を解決するために、北条氏の権力を強化するため | 3. 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため | 4. 農民に対して土地の売買を禁止し、年貢を確実に納めさせるため |
|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問3 鎌倉幕府の「御恩」と「奉公」という仕組みにおいて、その関係性の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 将軍が御家人の領地を保証する代わりに、御家人が軍役などの義務を果たすという、土地を仲立ちとした双方向の関係。 | 2. 御家人が自らの意志で土地を将軍に献上し、その代償として将軍が御家人を官位に任命するという、名誉に基づいた関係。 | 3. 将軍がすべての土地を直轄地とし、御家人がそこから得られる年貢を徴収して将軍に納めるという、一方的な従属関係。 | 4. 朝廷が認めた貴族の領地を将軍が奪い、その土地を御家人に平等に分配して耕作させるという、共同体的な関係。 |
|---|--|---|--|
- 問4 平氏を滅ぼした後の源義経の生涯について、その背景と経緯を説明した文として正しいものはどれですか。（2018年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 平氏を滅ぼした功績が認められ、近畿地方を治める初代の執権として幕府の政治を主導した。 | 2. 武士の時代の到来を予見し、山口県の下関付近に独自の独立政権を樹立して平氏の遺志を継いだ。 | 3. 戦後に後白河法皇と協力して、鎌倉に代わる新しい幕府を近畿地方に樹立した。 | 4. 兄の源頼朝と対立し、東北地方の奥州藤原氏のもとへ逃れたが、最終的に自害に追い込まれた。 |
|---|---|---|--|
- 問5 源頼朝が朝廷から設置の許可（勅許）を得て、全国の荘園や公領ごとに配置した役職を何といいますか。この役職は、土地の管理や年貢の徴収、現地の治安維持を主な任務としていました。（2025年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 守護 | 3. 地頭 | 4. 管領 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 源頼朝が、対立した実の弟を捕らえることを名目として、国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を設置することを朝廷に認めさせた際、その捕縛の対象となった人物と、軍事や御家人の統制を担うために設置された組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1. 源義経と政所 | 2. 源義仲と侍所 | 3. 源義経と侍所 | 4. 源義仲と問注所 |
|-----------|-----------|-----------|------------|
- 問7 日本の平清盛が活躍した12世紀後半から、鎌倉幕府が成立した後の13世紀初頭にかけての世界情勢について述べた文として、正しいものはどれか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. マゼランの船団が世界周航に出発し、ヨーロッパ諸国による新航路の開拓が活発に行われた。 | 2. チンギス＝ハンによってモンゴルの諸部族が統一され、ユーラシア大陸にまたがる広大な帝国の形成が始まった。 | 3. 朝鮮半島において、新羅が唐と結んで百済や高句麗を滅ぼし、半島の統一を達成した。 | 4. ムハンマドがイスラム教を創始し、アラビア半島の諸部族を統合して宗教国家を築いた。 |
|---|--|--|---|
- 問8 鎌倉幕府において、源氏の将軍が途絶えた後に北条氏が「執権」という役職に就き、有力な御家人を統率して幕府の実権を握った政治形態を何といいますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 親政 | 2. 執権政治 | 3. 摂関政治 | 4. 院政 |
|-------|---------|---------|-------|
- 問9 鎌倉時代に普及した「禅宗」の特色について、それ以前に広まっていた「浄土教」の考え方と比較した説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 念仏を唱えることよりも、経典を書き写す写経によって功德を積むことを重視した。 | 2. 極楽浄土への往生を願うのではなく、現世での利益を得るための祈禱を主な修行とした。 | 3. 阿彌陀如来の救いにすがるのでなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。 | 4. 特定の仏を信仰の対象とせず、日本古来の神々を鎮めるための儀式を重んじた。 |
|---|---|--|---|
- 問10 1221年の承久の乱の際、北条政子は御家人たちを前に、初代将軍である源頼朝以来の恩義が「山よりも高く、海よりも深い」と訴え、幕府への忠誠を呼びかけました。この演説において、将軍が御家人の領地を保証するといった恩恵を指して使われた概念はどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 徳政 | 2. 封建 | 3. 御恩 | 4. 奉公 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問11 鎌倉時代後半、元寇の防衛に功績のあった御家人が生活に困窮し、幕府への不満を強めた経緯を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|
| 1. 御成敗式目によって土地の相続が厳しく制限され、家を維持することが困難になった。 | 2. 元の軍隊が九州の大部分を占領し、御家人の所領が直接的に奪われた。 | 3. 幕府が全国の武士に土地を寄進するよう命じたため、自立した経営ができなくなった。 | 4. 自費で軍役を果たしたが、恩賞としての領地が与えられなかったため、幕府との主従関係が揺らいだ。 |
|--|-------------------------------------|--|---|
- 問12 鎌倉時代の武士の生活を描いた「男衾三郎絵詞」などの資料には、武士が館の周辺で田畑を耕作させ、弓馬などの武芸の訓練に日常的に励む姿が記されています。こうした武士たちを国ごとに統括し、治安維持や軍事的な任務にあたらせるために源頼朝が設置した役職とその役割の組み合わせとして、正しいものを選んでください。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 侍所が、御家人たちの日常的な農業経営を直接指導した。 | 2. 六波羅探題が、承久の乱の後に京都の警備や朝廷の監視を行った。 | 3. 守護が、国ごとに置かれて軍事・警察の職務を執り行った。 | 4. 地頭が、国ごとに置かれて年貢の取り立てや土地の管理を行った。 |
|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 鎌倉時代、北条氏が「執権」という立場から政治を主導した時期の背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 室町幕府との違いを明確にするため、執権は武士の裁判だけでなく、寺社の管理や天皇の即位にも関与した。 | 2. 源氏の将軍が絶えた後も、北条氏は自ら将軍にはならず、将軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。 | 3. 北条氏は朝廷から直接任命されることで、将軍に代わって全国の守護や地頭を指揮する権限を得た。 | 4. 有力な御家人の不満を抑えるため、北条氏は執権の職を北条氏以外の御家人と交代で務める仕組みを作った。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 守護は警察や軍事の仕事を行い、地頭は年貢の徴収や土地の管理を行った。	鎌倉時代において、国ごとに置かれた守護は謀反人や殺人犯の取り締まりなどの警察・軍事の職務を担当しました。一方、荘園や公領ごとに置かれた地頭は、現地で年貢の徴収や土地の管理を担当しました。
問2	答え 3 武士同士の領地争いなどに対して、公平な裁判の基準を示すため	鎌倉幕府の支配力が全国に広がるにつれ、武士の間で土地をめぐる複雑な争いが増加しました。北条泰時は、武士社会の「ならわし」に基づいた明確なルールを文書化することで、身分の上下に関係なく、納得感のある公平な裁判が行えるようにすることを目指しました。この法律は、のちの室町幕府や戦国大名が定めた分国法にも大きな影響を与えました。
問3	答え 1 将軍が御家人の領地を保証する代わりに、御家人が軍役などの義務を果たすという、土地を仲立ちとした双方向の関係。	鎌倉時代の主従関係は、単なる精神的な忠誠心だけでなく、「土地」という具体的な利益を介した契約的な性格を持っていました。将軍が御家人の領地（私有地）の所有権を公的に認める「御恩」があるからこそ、御家人は命をかけて戦う「奉公」を行うという、互恵的な仕組みが成立していました。これを封建制度と呼びます。
問4	答え 4 兄の源頼朝と対立し、東北地方の奥州藤原氏のもとへ逃れたが、最終的に自害に追い込まれた。	壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした源義経でしたが、兄である源頼朝の許可なく朝廷から官位を受けたことなどから頼朝の怒りを買い、兄弟の関係は悪化しました。頼朝から追われる身となった義経は、かつて少年時代を過ごした東北地方（平泉）の奥州藤原氏を頼りました。しかし、頼朝の圧力を受けた藤原泰衡に攻められ、非業の死を遂げることとなりました。
問5	答え 3 地頭	源頼朝が1185年に、朝廷から任命の権利を認めさせて設置した職名です。それまで貴族や寺社が実質的に支配していた荘園や、国が管理していた公領に武士を送り込むことで、幕府が全国の土地と年貢の流れを掌握する重要な足がかりとなりました。
問6	答え 3 源義経と侍所	源頼朝は、平氏を滅ぼした後に自分と対立した弟の源義経を捕らえるという口実で、1185年に守護・地頭を設置する権利を朝廷に認めさせました。これにより、幕府の支配力が全国に及ぶことになりました。また、鎌倉には軍事や御家人の統制を司る「侍所」のほか、一般政務を扱う「政所（当初は公文所）」、訴訟や裁判を扱う「問注所」が設置され、幕府の統治機構が整えられました。
問7	答え 2 チンギス＝ハンによってモンゴルの諸部族が統一され、ユーラシア大陸にまたがる広大な帝国の形成が始まった。	チンギス＝ハンによるモンゴル諸部族の統一は13世紀初頭の出来事であり、これは日本の平安時代末期から鎌倉時代初期の時期と重なります。マゼランの世界周航は16世紀、ムハンマドによるイスラム教の成立や新羅による朝鮮半島の統一は7世紀の出来事であるため、時期が異なります。
問8	答え 2 執権政治	鎌倉幕府を創設した源頼朝の死後、その妻である北条政子の実家である北条氏が、将軍を補佐する役職である「執権」の地位を世襲しました。これにより、形骸化した将軍に代わって北条氏が政治の決定権を持つ仕組みが確立されました。平安時代に藤原氏が天皇を補佐した摂関政治や、上皇が政治を行った院政とは、主導権を握る階層や組織が異なります。
問9	答え 3 阿弥陀如来の救いにすがるのはではなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。	浄土教が阿弥陀如来という他者の力に頼る「他力」の教えであるのに対し、禅宗は座禅などの修行によって自分自身の力で悟りを得ようとする「自力」の教えであることが大きな違いです。この精神的な厳しさが、命がけで戦う当時の武士たちの支持を集める要因となりました。
問10	答え 3 御恩	北条政子の演説は、後鳥羽上皇による幕府打倒の動きに対し、御家人たちの動揺を鎮めるために行われました。彼女は、将軍から領地を保証されたり与えられたりした「御恩」の重さを強調することで、御家人たちに幕府のために戦う「奉公」を促しました。この演説は御家人の心を捉え、幕府軍の勝利と鎌倉幕府の支配権拡大につながりました。
問11	答え 4 自費で軍役を果たしたが、恩賞としての領地が与えられなかったため、幕府との主従関係が揺らいだ。	鎌倉幕府の基盤は、将軍が御家人の所領を保証する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」という主従関係にありました。しかし、元寇においては御家人が重い負担を負って奉公したにもかかわらず、幕府が十分な「御恩（恩賞）」を与えることができなかったため、この互恵的な関係が崩壊しました。これが御家人の幕府離れを招き、幕府滅亡への遠因となりました。
問12	答え 3 守護が、国ごとに置かれて軍事・警察の職務を執り行った。	源頼朝は、各地で自立的な生活を送る武士（御家人）を統制し、国家の治安を維持するため、各国に守護を配置しました。守護の主な任務は「大犯三箇条（だいぼんさんかじょう）」と呼ばれる軍事・警察的な権限であり、これによって幕府は全国的な軍事警察権を握ることになりました。一方で、土地の管理や年貢の徴収を主な職務としたのは、荘園などに置かれた地頭です。
問13	答え 2 源氏の将軍が絶えた後も、北条氏は自ら将軍にはならず、将軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。	北条氏は源氏の正統な血筋が途絶えた後、皇族や摂関家から形式的な将軍（宮将軍・摂家将軍）を迎え入れ、自らはあくまで「執権」としてその補佐を行う形式をとることで、幕府内での実質的な支配権を確立しました。この体制を執権政治と呼びます。北条氏は御家人の筆頭という立場を維持しつつ、一族で重要ポストを占めることで独裁的な権力を強めていきました。

- 問1 源頼朝が、全国の国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置することを朝廷に認めさせた最大の狙いとして、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 源義仲を討伐するための軍資金を、全国の農民から平等に徴収する仕組みを作るため | 2. 平氏の残党を完全に排除し、平氏が所有していた領地をすべて朝廷に返還するため | 3. 源義経の追討を口実として、全国的な軍事・警察権や土地管理権を幕府が握るため | 4. 北条氏による執権政治を確立するために、朝廷が持つ裁判権をすべて鎌倉へ移すため |
|---|--|--|---|
- 問2 鎌倉時代、平氏による焼き討ちで焼失した東大寺の復興において、僧の重源が中国（宋）から伝わった技術を導入して再建した建築物があります。太い柱や梁を組み合わせた「大仏様（天竺様）」と呼ばれる力強い様式が特徴で、内部には運慶や快慶の手による金剛力士像が安置されているこの建物の名称を答えなさい。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|-----------|
| 1. 東大寺南大門 | 2. 鹿苑寺金閣 | 3. 姫路城 | 4. 東大寺正倉院 |
|-----------|----------|--------|-----------|
- 問3 鎌倉時代に起こった承久の乱の背景や経過について述べた文として、最も適切なものはどれか。
(2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 後醍醐天皇が幕府を倒そうと兵を挙げ、足利尊氏や新田義貞の協力によって、長年続いた鎌倉幕府を滅ぼした。 | 2. 源頼朝の死後、北条氏が実権を握ったことに反発した平氏の残党が、西国で反乱を起こして幕府軍と戦った。 | 3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。 | 4. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに守護大名が二つの勢力に分かれて争い、京都を中心に11年に及ぶ戦乱が続いた。 |
|---|--|---|--|
- 問4 鎌倉時代に設置された「地頭」という役職の説明として、その役割や性質を正しく述べているものはどれですか。
(2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 荘園や公領ごとに置かれ、土地の管理や年貢の取り立て、地域の警察活動を行った。 | 2. 朝廷の最高機関として、政治の全般や儀式、公文書の管理を行った。 | 3. 執権を補佐し、幕府の政務や裁判を合議によって決定する役割を担った。 | 4. 国ごとに一人置かれ、国内の武士を統制するとともに軍事・警察活動を行った。 |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---|
- 問5 飛鳥、奈良、平安、鎌倉、室町、安土桃山、江戸という時代順の変遷において、鎌倉時代から室町時代までを括る「中世」という時代の政治的な特徴として、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 律令に基づいて、天皇や貴族が全国を直接支配する仕組みが確立された。 | 2. 武士が幕府を開き、土地の支配を仲立ちとして主従関係を結ぶ政治が行われた。 | 3. 内閣制度が導入され、憲法に基づき国民が選出した議会が政治を主導した。 | 4. 兵農分離が徹底され、検地や刀狩を通じて大名が領民を厳格に支配した。 |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問6 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しいものを、次から選びなさい。
(2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-------|--------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 京都所司代 | 3. 管領 | 4. 大宰府 |
|----------|----------|-------|--------|
- 問7 江戸時代の社会において、奉公人は主人から衣食住を保障される代わりに、主家のために労働を提供する「奉公」を行いました。この時代の商家の奉公人の形態として、幼少期から住み込みで働き、後に独立を目指す仕組みを表す用語の組み合わせとして適切なものはどれですか。
(2025年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 地頭（じとう）の下で、名主（なぬし）として村の運営にあたる | 2. 代官（だいかん）として、天領の年貢徴収や裁判を担当する | 3. 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す | 4. 問屋（といや）として、周辺の農村に家内工業の原料を貸し出す |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問8 日本の鎌倉時代にあたる13世紀、モンゴル高原に強力な指導者が現れ、世界に大きな影響を与えました。この時期のモンゴル帝国の動向やその指導者であるチンギス＝ハンについて述べた文として、適切なものはどれか。
(2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日本へ向けて2度の遠征軍を送り、九州北部を攻撃させた | 2. 万里の長城を完成させ、北方の遊牧民族の侵入を完全に阻止した | 3. 産業革命を主導し、蒸気機関を用いた大規模な生産体制を確立した | 4. 中央アジア方面まで勢力を広げ、広大な地域を支配する帝国を建国した |
|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時は、日本初の武士向けの法律である貞永式目（御成敗式目）を制定しました。この法律の中に「二十年以上、継続してその土地を支配していれば、その者に所有を認める」といった規定が盛り込まれた主な目的として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 朝廷が用いていた公家法を全国の武士に強制し、幕府による朝廷支配をさらに強めるため | 2. 荘園の年貢を地頭が差し押さえることを全面的に認め、幕府の経済的な基盤を強化するため | 3. 武士の社会で行われていた慣習をまとめ、領地争いなどの裁判を公平に行うための基準を示すため | 4. 幕府の命令を無視して年貢を納めない荘園領主を罰し、すべての土地を幕府の直轄地にするため |
|---|--|---|--|
- 問10 鎌倉幕府の衰退を招いた要因の一つに、武士の経済基盤が弱体化したことが挙げられます。このように、親が子に対して領地を分けて受け継がせる相続の形態を何といいますか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 嫡子相続 | 2. 単独相続 | 3. 寄進相続 | 4. 分割相続 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 鎌倉時代後半に元の軍勢が日本に押し寄せた際、武士が戦う様子を描いた歴史的史料には、従来の日本の武士の戦い方とは異なるどのような軍の様子が記録されていますか。適切な説明を選びなさい。
(2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 火縄銃を三段構えで用いて、武士の騎兵隊を圧倒する様子 | 2. 一騎打ちの戦術を中心とし、弓矢のみを用いて整然と戦う様子 | 3. 集団戦術を用い、てつほうと呼ばれる火器などを使用して攻め寄せる様子 | 4. 大型の木製城砲や水軍艦隊のみを用いて海上から攻撃を行う様子 |
|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問12 鎌倉時代初期、武士の間で一般的であった相続の仕組みと、それが御家人の生活に与えた影響について正しく説明しているものはどれですか。
(2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 単独相続が基本となり、長男がすべての領地を継承したため、次男以下の武士が幕府に反抗する原因となった。 | 2. 養子縁組による相続が奨励され、血縁のない有力者に領地が集約されたことで、御家人の経済基盤は安定した。 | 3. 領地はすべて幕府に返上し、代わりに現物支給の給与を受ける制度へと移行したため、領地面積の変動は生じなかった。 | 4. 分割相続が行われ、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されたことで、御家人が困窮する一因となった。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 源義経の追討を口実として、全国的な軍事・警察権や土地管理権を幕府が握るため	源頼朝は、対立した弟の源義経を捕縛するという「軍事的な必要性」を名目にして、守護・地頭の設置を朝廷に認めさせました。これにより、幕府は地方の軍事・警察権（守護）や、土地の管理・年貢の徴収（地頭）を通じて、全国の武士や土地に対する支配力を急速に強めることに成功しました。これは、単なる個人の追討を超えた、武家政権の基礎を固める重要な政治的制度でした。
問2	答え 1 東大寺南大門	鎌倉時代初期、源頼朝の支援を受けた僧の重源は、戦火で失われた東大寺の再建を指揮しました。彼は当時の中国の最新様式である「大仏様（天竺様）」を導入し、伝統的な様式よりも豪壮で力強い構造を実現しました。この門に配置された金剛力士像も、当時の武士の気風を反映した写実的で力強い彫刻の代表作です。金閣は室町時代、姫路城は安土桃山時代、正倉院は奈良時代の建築物です。
問3	答え 3 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。	朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇は、北条氏を中心とする幕府に対して討伐の命令を下しました。これに対し、源頼朝の妻であった北条政子が「頼朝公の恩は山よりも高く海よりも深い」と御家人たちに訴えて結束させたことが、幕府軍勝利の大きな要因となりました。
問4	答え 1 荘園や公領ごとに置かれ、土地の管理や年貢の取り立て、地域の警察活動を行った。	鎌倉幕府によって任命された地頭は、現地で年貢の取り立てや土地の管理を行う実務的な役職でした。選択肢にある「国ごとに一人置かれた」役職は守護であり、地頭はそれよりも細かい単位である荘園や公領ごとに配置されたという違いがあります。
問5	答え 2 武士が幕府を開き、土地の支配を仲立ちとして主従関係を結ぶ政治が行われた。	中世は、それまでの天皇・貴族を中心とした古代国家から、武士が政治の実権を握る社会へと移行した時代です。将軍と御家人が「御恩と奉公」という土地を介した主従関係で結ばれたことが、この時代の統治の大きな特徴です。律令政治は古代、兵農分離や検地は近世、内閣制度や憲法は近代の説明です。
問6	答え 1 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、乱の再発を防ぐために京都に強力な出先機関を置く必要がありました。それまでの京都守護を改組・強化する形で設置されたのが六波羅探題であり、北条氏の有力者がその職に就いて、朝廷の監視、裁判、西日本の統治という重要な役割を担いました。
問7	答え 3 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す	江戸時代の商家の奉公人は、子供の頃に「丁稚」として住み込みを始め、成長して実力を認められると「番頭」などの役職に就きました。長年の忠誠と奉公の結果、主人から商号の使用を許されて独立する「のれん分け」が、当時の奉公人にとっての大きな目標となっていました。
問8	答え 4 中央アジア方面まで勢力を広げ、広大な地域を支配する帝国を建国した	13世紀初めにモンゴル帝国を建国し、その支配領域を中央アジアまで急速に拡大させました。日本へ2度の侵攻（元寇）を命じたのは、チンギス＝ハンの孫にあたる第5代皇帝のフビライ＝ハンです。チンギス＝ハンによる広大な地域の征服は、それまで分断されていた東西の交易路を統合し、マルコ＝ポーロのような旅行者が往来する背景となりました。
問9	答え 3 武士の社会で行われていた慣習をまとめ、領地争いなどの裁判を公平に行うための基準を示すため	承久の乱の後、地頭と荘園領主の間で土地を巡る紛争が増加したことが背景にあります。それまでは朝廷の「公家法」などが裁判の基準とされることもありましたが、武士にとっては理解しにくく、不公平が生じやすい状態でした。そこで北条泰時は、武士の慣習を成文化し、土地の所有期間に関する具体的な数値（20年）などを盛り込むことで、誰もが納得できる公平な裁判の基準を確立しようとしたのです。
問10	答え 4 分割相続	鎌倉時代の武士は、自分の領地を複数の子に分け与える「分割相続」を行っていました。この制度は当初、一族の団結を維持する役割を果たしていましたが、代を重ねるごとに一人ひとりの領地が縮小し、武士としての生活を維持することが難しくなっていました。後の時代になると、領地の散逸を防ぐために、一人の後継者に領地をまとめて継がせる単独相続へと移行していくことになります。
問11	答え 3 集団戦術を用い、てつはうと呼ばれる火器などを使用して攻め寄せる様子	蒙古襲来絵詞の描写からは、元軍が個人の名乗り合いによる一騎打ちではなく、集団で行動する集団戦術をとっていたことや、「てつはう」とと呼ばれる火薬を使った火器を用いて日本の武士を苦しめた様子が読み取れます。
問12	答え 4 分割相続が行われ、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されたことで、御家人が困窮する一因となった。	鎌倉時代初期の武士社会では、親の領地を複数の子（男女を含む）に分けて引き継がせる「分割相続」が定着していました。しかし、この制度では世代を重ねるたびに一族一人あたりの持ち分が小さくなる「領地の細分化」が避けられず、さらに元寇の防衛に伴う軍役負担などが重なったことで、御家人の生活は非常に苦しいもの（困窮）となりました。

- 問1 鎌倉時代の武士社会において、将軍と御家人の結びつきを支えた「御恩」の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること
 2. 御家人が将軍に対して、戦時に命をかけて軍役を果たすこと
 3. 御家人が将軍に対して、京都や鎌倉の警護を行うこと
 4. 将軍が御家人に対し、年貢の徴収や警察権を全国規模で代行させること
- 問2 鎌倉時代に関する歴史年表において、幕府が鎌倉と京都を結ぶ道路を整備した記述が見られます。その後、13世紀後半になると、鎌倉幕府が迅速な通信連絡を確保するために、この「駅制（えきせい）」を九州地方まで延長する要因となった出来事はどれですか。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. 奥州藤原氏の征服
 2. 元軍による襲来
 3. 保元の乱の発生
 4. 応仁の乱の勃発
- 問3 鎌倉時代に大陸から伝来した禅宗が、当時の政治の担い手であった武士の間に広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に合っていたから。
 2. 大規模な寺院を建立することで、領地を治める武士の権威を農民に示すのに最も都合が良かったから。
 3. 和歌や蹴鞠といった公家文化を否定し、武士独自の新しい娯楽を提供することに主眼を置いていたから。
 4. 念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けるという簡潔な教えが、文字の読み書きに慣れていない多くの武士に歓迎されたから。
- 問4 平安時代末期から鎌倉時代にかけての日本の経済状況において、土地売買や年貢の支払いにおいて貨幣が利用される割合が急増した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 中国の宋から大量の銅銭が輸入され、国内の通貨として広く流通したため
 2. 日本国内で大規模な銅山が次々と発見され、政府が独自の貨幣を大量に铸造したため
 3. 西欧諸国との貿易が始まり、銀を中心とした国際的な決済システムが導入されたため
 4. 幕府が物々交換を法律で禁止し、すべての取引を紙幣で行うよう強制したため
- 問5 鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などに基づき、正しい内容を選びなさい。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。
 2. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。
 3. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。
 4. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。
- 問6 鎌倉時代後半に登場した「悪党」と呼ばれる勢力について、その行動や背景として正しい説明はどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 荘園領主の権威を借りて、農民から不当に多くの年貢を取り立てる幕府役人であった。
 2. 天皇の命令を受けて、九州沿岸の警備を専門に行う軍事組織となった。
 3. 武力を背景に年貢の納入を拒むなど、荘園領主や幕府の支配に対抗した。
 4. 幕府の命令に従い、モンゴルの襲来に備えて石築地を築いた武士団であった。
- 問7 1281年の弘安の役において、元軍の日本上陸を困難にし、最終的に撤退へと追い込んだ大きな要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 鉄砲の集団斉射と、籠城作戦による食料不足
 2. 博多湾沿岸に築かれた防壁と、海上での暴風雨
 3. 瀬戸内海の村上水軍と、内陸でのゲリラ戦
 4. 平安京の防衛線と、冬の厳しい寒波
- 問8 鎌倉時代の1232年、第3代執権の北条泰時が制定した、武士の慣習や裁判の基準をまとめたわが国最初の武家独自の法典を選びなさい。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. 建武の新政
 2. 徳政令
 3. 十七条の憲法
 4. 御成敗式目
- 問9 鎌倉時代の文化に関する記述において、東大寺南大門の左右に配置されている巨大な木像を指し、運慶や快慶らを中心とする仏師たちが短期間で完成させたとされる、力強い写実的な彫刻作品の名称を答えなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 阿弥陀如来像
 2. 金剛力士像
 3. 弥勒菩薩像
 4. 釈迦如来像
- 問10 鎌倉時代に広まった臨済宗などの禅宗が、特に武士階級の間で広く受け入れられた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 三重県公立入試 類似）
1. 南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救われるという教えが、団結を重んじる武士の気風に合ったため
 2. 阿弥陀如来を信じて念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士に好まれたため
 3. 加持祈祷によって現世の利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の安定に不可欠だったため
 4. 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため
- 問11 平安時代末期、白河上皇が天皇の位を譲った後も「上皇」として政治の実権を握り、藤原氏による摂関政治を抑えて独自の政治を展開した仕組みを何といいますか。（2025年 山口県公立入試 類似）
1. 院政
 2. 親政
 3. 武家政治
 4. 執権政治
- 問12 1185年の壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした後の時期から、1192年に源頼朝が征夷大将軍に就任するまでの政治状況について述べた文として、正しいものはどれですか。追討の対象となった人物と、設置された役職に注目して選びなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）
1. 朝廷の勢力を抑えるために後白河法皇を幽閉し、地方の有力な御家人をすべて京都へ集めて警護にあたらせた。
 2. 対立した弟の源義経を捕らえることを名目に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置した。
 3. 平氏の残党である平清盛の一族を掃討することを名目に、国ごとに国司を、郡ごとに郡司を再配置した。
 4. 執権の北条時政を討伐することを名目に、東国の荘園に限定して地頭を置き、幕府独自の徴税を強化した。
- 問13 平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡した後、源頼朝は関東を本拠地として武家政権の確立を進めました。頼朝が平氏討伐に協力した弟の義経を追放した際、義経をかくまったことを理由に軍を送り込み、平泉を拠点としていた勢力を滅ぼした出来事を何といいますか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 元寇への対応
 2. 承久の乱の鎮圧
 3. 奥州藤原氏の征伐
 4. 島原の乱の鎮圧

答え合わせ・解説

問1	答え 1 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること	鎌倉時代の主従関係は「土地」を仲立ちにしていました。将軍から御家人への働きかけが「御恩」、御家人から将軍への奉仕が「奉公」です。警護や軍役は「奉公」の内容にあたります。御恩の根幹は、武士にとって最も重要な財産である「領地」を将軍が保証することにありました。なお、全国に置かれた地頭や守護の職に任命することも御恩に含まれますが、選択肢にある「警察権を全国規模で代行させる」のは役職としての守護の職務説明に近いものです。
問2	答え 2 元軍による襲来	鎌倉幕府は当初、幕府の所在地である鎌倉と、朝廷のある京都との連絡を最重視していました。しかし、13世紀後半にモンゴル帝国（元）が九州北部に侵攻してくると、現地の戦況をいち早く把握し、御家人への指令を迅速に伝える必要が生じました。この国防上の要請から、通信網である「駅制」が九州まで拡張・整備されました。
問3	答え 1 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に適していたから。	禅宗は、座禅を通じて自己の精神を律し、強靱な精神力を養うことを重視しました。これは常に死と向き合い、戦場での冷静さや自己規律を必要としていた武士の生き方と非常に親和性が高かったのです。そのため、鎌倉幕府の執権であった北条氏など、多くの有力な武士が禅宗を保護し、その普及を後押ししました。
問4	答え 1 中国の宋から大量の銅銭が輸入され、国内の通貨として広く流通したため	当時の日本では、政府による貨幣の鑄造が途絶えていましたが、日宋貿易を通じて宋から大量の銅銭が流入したことで、再び貨幣が社会に浸透しました。この潤沢な貨幣供給により、土地の売買といった重要な経済活動においても、重くてかさばる米や布に代わって、持ち運びや計算が容易な銅銭が主要な決済手段として選ばれるようになりました。
問5	答え 1 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。	鎌倉時代、西日本から始まった二毛作は、農業生産力を飛躍的に高めました。これは夏に主食となる米を、冬には裏作として麦を育てる仕組みです。また、この時期には牛や馬に農具を引かせて田畑を深く耕す「牛馬耕」や、草木を焼いた灰を肥料にする「草木灰」の利用、灌漑用の水車の普及など、技術的な進歩が重なったことで中世の農業は大きく発展しました。選択肢にある石包丁は弥生時代、備中鍬は江戸時代、製糸業の近代化は明治時代以降の特徴であるため、時代背景が異なります。
問6	答え 3 武力を背景に年貢の納入を拒むなど、荘園領主や幕府の支配に対抗した。	貨幣経済の発展や分割相続による生活の困窮を背景に、従来の幕府の統制に従わない武士や地主層が現れました。彼らは荘園領主への年貢納入を拒否したり、幕府の役人と武力で衝突したりするなど、既存の支配構造を実力で打破しようとした。こうした悪党の活動は、幕府の権威失墜と衰退を象徴する出来事といえます。
問7	答え 2 博多湾沿岸に築かれた防塁と、海上での暴風雨	鎌倉幕府は一度目の襲来（文永の役）のあと、二度目の襲来に備えて博多湾の沿岸に「防塁（石築地）」と呼ばれる石垣を築きました。弘安の役では、この防塁が元軍の上陸を効果的に防ぎ、戦いが長期化しました。その間に激しい暴風雨が元軍の艦隊を襲い、甚大な被害を与えたことが撤退の決定打となりました。これら防塁による防衛と自然現象が組み合わさったことが、元寇における日本側の勝利に繋がりました。
問8	答え 4 御成敗式目	第3代執権の北条泰時は、武家社会に伝わる慣習や道徳（道理）をもとに、裁判を公平に行うための基準を全51箇条にまとめました。これは制定された年の元号から「貞永式目」とも呼ばれます。これ以降、この法典は後世の武家法の規範となりました。
問9	答え 2 金剛力士像	鎌倉時代初期の彫刻は、武士の気風を反映して、それまでの平安時代の優美な様式とは異なる力強く写実的な作風が特徴です。東大寺南大門にあるこの像は、運慶や快慶といった慶派の仏師たちによって制作されました。左右に「阿形（あぎょう）」と「吽形（うんぎょう）」の二体一対で安置されています。
問10	答え 4 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため	禅宗は、經典の暗記や複雑な儀式よりも、座禅による実践的な修行を重視しました。自分の力で悟りに到達しようとする厳格な姿勢は、日々命がけで戦いに臨む武士たちの自己規律や精神的な強さを養う手段として高く評価されました。特に北条時頼や北条時宗といった幕府の執権たちが禅僧に帰依し、鎌倉に建長寺や円覚寺などの寺院を建立したことで、武士の間での地位が確立されました。
問11	答え 1 院政	白河天皇は位を譲った後も「院」として実権を持ち続け、政治を主導しました。これにより、それまで権勢を振っていた藤原氏（摂関家）の影響力を排除し、上皇が政治を動かす体制が確立されました。この時期には平氏などの武士が上皇の警備のために登用され、後の武士の台頭につながる背景となりました。
問12	答え 2 対立した弟の源義経を捕らえることを名目に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置した。	源頼朝は、平氏滅亡後に自身の命に背いた弟の源義経を追捕するためという名目で、1185年に朝廷から「守護」と「地頭」の設置権を認めさせました。これにより頼朝は、軍事・警察権だけでなく、土地の管理や年貢の徴収という経済的な実権をも掌握することになり、鎌倉幕府による全国支配の基盤が確立されました。平清盛は壇ノ浦の戦い以前に没しており、国司・郡司は律令制度下の役職であるため、この時期の幕府の施策としては不適切です。
問13	答え 3 奥州藤原氏の征伐	源頼朝は、対立した弟の源義経をかくまった奥州藤原氏を滅ぼすため、1189年に大規模な軍勢を東北地方へ送り込みました。これにより、平泉を中心とした奥州藤原氏の勢力は滅亡し、頼朝は日本全域にわたる軍事的な支配権を固めることとなりました。

- 問1 北条泰時が制定した「貞永式目（御成敗式目）」の内容や性格について説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 武士社会の慣習に基づき、地頭が荘園の年貢を差し押さえることを禁じるなど、公平な裁判の基準を定めた。
 2. 源頼朝が定めた独自の法律を、すべての一般庶民が守るべき道徳として書き換えたものである。
 3. 朝廷の権限を制限するために、京都の公家たちが守るべき法律として、幕府が一方的に通告した。
 4. 農民の土地支配を保護するために、武士が農地に関与することを一切禁じることを目的としていた。
- 問2 源頼朝が確立した武士による政治において、将軍が御家人の領地支配を保証する代わりに、御家人が軍役などを負担するという主従関係の基盤となった仕組みを何といいますか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 寄進地系荘園
 2. 下剋上
 3. 惣領制
 4. 御恩と奉公
- 問3 日本の武家政権における政治の仕組みを説明した次の内容のうち、歴史的な事実として「誤っているもの」はどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 鎌倉幕府は、承久の乱の後に朝廷の監視や西国の統率を目的として六波羅探題を設置した。
 2. 室町幕府は、関東地方を統治するための出先機関として鎌倉府を設置した。
 3. 室町幕府は、将軍を補佐する最高職として、有力な守護大名が交代で務める管領を置いた。
 4. 室町幕府は、朝廷を監視し西国の御家人を統制するために、京都に六波羅探題を設置した。
- 問4 源頼朝が全国に「守護」や「地頭」を設置することを朝廷に認めさせた、当時の政治的な背景として最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 対立した弟の源義経を捕らえるという名目で、全国の軍事・警察権や徴税権を掌握しようとしたため
 2. 天皇を中心とした公家政治を完全に廃止し、全国の土地をすべて武士の私有地にするため
 3. 身分制度を固定するために刀狩を行い、農民から武器を没収して反乱を未然に防ぐため
 4. 元（モンゴル帝国）の襲来に備えて、沿岸部の防備を武士たちに命じる必要があったため
- 問5 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり、戦功に応じて新たな土地を与えたりする一方で、御家人が将軍のために軍役や番役を果たすことで成立していた主従関係を何といいますか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
1. 寄進
 2. 御恩と奉公
 3. 封建制度
 4. 知行
- 問6 一二二一年に起きた承久の乱について、この出来事が起こされた目的と、中心となった人物の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 北条時宗が、元軍の襲来に備えて全国の武士を統制するために命令を出した。
 2. 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。
 3. 後醍醐天皇が、足利尊氏と協力して鎌倉幕府を倒すために兵を挙げた。
 4. 平清盛が、武士として初めて太政大臣になり政治の実権を握るために兵を挙げた。
- 問7 鎌倉幕府が「永仁の徳政令」を出すに至った歴史的な背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれか、次から選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）
1. 新田開発が進んで米の収穫量が増えた結果、米の価格が暴落し、年貢を収入源とする武士の生活が立ち行かなくなった。
 2. 元との防衛戦において新たな領地を獲得できなかったため、戦いに協力した武士へ十分な恩賞を与えることができず、御家人が困窮していた。
 3. 参勤交代の制度によって江戸と領地を往復する費用がかさみ、有力な武士が商人から多額の借金をして土地を手放していた。
 4. 全国的な検地が行われ、農民が土地の所有権を認められたことで、武士が農民から年貢を徴収する権利を失い、生活が苦しくなった。
- 問8 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハーンが、都を大都（現在の北京）に移した際に定めた中国風の国号を次の中から選びなさい。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 清
 2. 明
 3. 高麗
 4. 元
- 問9 鎌倉時代の文化において、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…」という一節で知られる軍記物語があります。この物語が、文字を読めない庶民の間にも広く普及した理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 活版印刷の技術が普及し、安価な本として大量に出版されたため
 2. 寺子屋で読み書きの教科書として広く採用されたため
 3. 朝廷が公式な歴史書として認め、各地の役所に書き写させたため
 4. 琵琶を弾きながら語り歩く琵琶法師によって、各地で語り伝えられたため
- 問10 鎌倉時代から南北朝時代にかけて書かれた『徒然草』の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2019年 香川県公立入試 類似）
1. 出家した兼好法師が、変わりゆく世の中への洞察や人間関係のあり方を記述した。
 2. 清少納言が宮廷に仕えた経験をもとに、平安貴族の華やかな生活や感性を表現した。
 3. 鴨長明が相次ぐ災害を経験し、この世の無常さを方丈の庵の中から書き留めた。
 4. 武士の台頭による社会の混乱の中、平氏の興亡を琵琶法師が語り継ぐための台本として成立した。
- 問11 鎌倉時代に全国に配置された「守護」と「地頭」の役割や設置場所の違いについて、正しい説明はどれですか。（2017年 愛媛県公立入試 類似）
1. 守護は荘園領主として現地の経済を支配し、地頭は国司の下で地方行政の実務や朝廷への報告を担当した。
 2. 守護は幕府の最高職として政治全般を補佐し、地頭は幕府が直轄する都市の治安維持とキリスト教の取り締まりを行った。
 3. 守護は東日本の警備のために臨時に任命され、地頭は西日本の有力武士を監視するために京都の六波羅に常駐した。
 4. 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。
- 問12 院政の開始から鎌倉幕府の成立にいたる歴史的経過について説明した文として、正しく述べられているものを次のうちから1つ選びなさい。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 鎌倉幕府が成立したあと、平氏政権がつくられて日宋貿易が盛んに行われた。
 2. 白河上皇が院政を開始したあと、平清盛が武士として初めて太政大臣に就任した。
 3. 源頼朝が守護・地頭を設置したあと、平清盛が太政大臣に就任して平氏の政権を確立した。
 4. 平清盛が太政大臣に就任したあと、白河上皇による院政が開始された。
- 問13 承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、敗れた朝廷の監視や京都の警備、および西日本における支配を強化するために、新たに京都の拠点へ配置した役職として適切なものを選びなさい。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 執権
 2. 鎮西探題
 3. 六波羅探題
 4. 問注所

答え合わせ・解説

問1	答え 1 武士社会の慣習に基づき、地頭が荘園の年貢を差し押さえることを禁じるなど、公平な裁判の基準を定めた。	貞永式目は、武士のために作られた最初の法律です。それまで明文化されていなかった武士社会の慣習や道徳を整理し、地頭による不当な年貢の差し押さえを禁じるなど、紛争を解決するためのルールを明確にしました。この法律は武士の社会を対象としたもので、朝廷の支配下にある人々に適用される公家法とは区別されていましたが、その後の武家政治における法律の模範となりました。
問2	答え 4 御恩と奉公	鎌倉幕府の仕組みは、将軍と御家人の個人的な主従関係によって支えられていました。将軍が御家人の領地を保証したり新たな土地を与えたりする「御恩」に対し、御家人は「奉公」として軍役や鎌倉の警護を行いました。この土地を介した双方向の契約関係が、武家政治の基礎となりました。
問3	答え 4 室町幕府は、朝廷を監視し西国の御家人を統制するために、京都に六波羅探題を設置した。	六波羅探題は鎌倉幕府が設置した機関であり、室町幕府の仕組みではありません。室町幕府においても京都に侍所などが置かれていましたが、六波羅探題はあくまで鎌倉時代の承久の乱（1221年）をきっかけに作られたものであるという点に注意が必要です。他の選択肢にある管領や鎌倉府は、室町幕府の統治体制として正しい説明です。
問4	答え 1 対立した弟の源義経を捕らえるという名目で、全国の軍事・警察権や徴税権を掌握しようとしたため	源頼朝は、自分と対立して逃亡した弟の源義経を搜索・追捕するという名目を使って、朝廷から守護（国ごと）と地頭（荘園や公領ごと）の設置を認めさせました。これにより、幕府の支配力が地方にまで及ぶようになり、武家政治の基盤が固まりました。他の選択肢は、元寇（鎌倉時代中期）や刀狩（安土桃山時代）など、別の時代の出来事について述べています。
問5	答え 2 御恩と奉公	鎌倉幕府の基盤となったこの仕組みは、土地を媒介とした双方向の契約関係です。将軍が与える恩恵を「御恩」、御家人が果たす義務を「奉公」と呼び、この強い結びつきが武士社会の秩序を支えました。
問6	答え 2 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。	鎌倉時代初期、幕府の実権を握る北条氏に対して、朝廷の政治的権威を復活させようと計画したのが後鳥羽上皇です。一二二一年に上皇は北条義時の追討を命じましたが、北条政子の演説によって幕府軍が団結し、短期間で朝廷軍は敗北しました。よく似た出来事として、後に鎌倉幕府を滅ぼす後醍醐天皇の動きがありますが、年代や人物を混同しないように注意が必要です。
問7	答え 2 元との防衛戦において新たな領地を獲得できなかったため、戦いに協力した武士へ十分な恩賞を与えることができず、御家人が困窮していた。	鎌倉幕府の根幹は「御恩（土地の保障や恩賞）」と「奉公（軍役）」という主従関係にありました。しかし、元寇は外国からの侵略を防ぐ戦争であったため、勝利しても新たに分け与える土地がありませんでした。莫大な戦費を負担した御家人は、土地を質に入れたり売却したりして生活をしのいでいましたが、これが幕府の基盤を揺るがす事態となったため、徳政令による救済が必要となりました。
問8	答え 4 元	チンギス・ハンによって築かれたモンゴル帝国は、第5代皇帝のフビライ・ハンの時代に、中国風の「元」という国号を採用しました。フビライは日本に対しても服従を求め、二度にわたる元寇（文永の役・弘安の役）を引き起こしました。
問9	答え 4 琵琶を弾きながら語り歩く琵琶法師によって、各地で語り伝えられたため	鎌倉時代に成立した『平家物語』は、平氏の繁栄と没落をえがいた軍記物語です。この作品は、琵琶を弾きながら物語を語る「琵琶法師（びわほうし）」によって各地へ広められました。音声によるパフォーマンスとして親しまれたことで、当時の識字率に関わらず、多くの民衆がその内容を知ることができました。
問10	答え 1 出家した兼好法師が、変わりゆく世の中への洞察や人間関係のあり方を記述した。	『徒然草』は、朝廷に仕えた後に隠遁生活を送った兼好法師が、知識人としての広い見識に基づき、人生観や自然観、当時の社会習慣などを批判的かつ多角的に論じたものです。他の選択肢にある、平安時代の宮廷生活を描いたのは『枕草子』、隠遁生活の中で無常観を強調したのは『方丈記』、平氏の興亡を扱ったのは『平家物語』であり、成立した時代や著者が異なります。
問11	答え 4 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。	守護と地頭は、それぞれ設置された単位と役割が異なります。守護は行政単位である「国」と共に原則1名ずつ置かれ、国内の武士（御家人）を統率して、謀反人の逮捕や大番役の催促といった軍事・警察的な仕事を行いました。一方、地頭はより細かな単位である「荘園」や「公領（国衙領）」ごとに置かれ、年貢の取り立てや土地の管理という実務的な権利（地頭職）を行使しました。この重層的な支配構造を理解することが、鎌倉時代の制度を把握する上で重要です。
問12	答え 2 白河上皇が院政を開始したあと、平清盛が武士として初めて太政大臣に就任した。	平安時代末期には、まず白河上皇によって院政が開始されました。その後、力を伸ばした平清盛が武士として初めて太政大臣となり平氏政権を確立しました。したがって、白河上皇の院政開始が先で、平清盛の太政大臣就任が後となります。
問13	答え 3 六波羅探題	乱の結果、幕府は朝廷側の領地を没収して御家人たちに分け与え、西日本への支配力を急速に強めました。それまで朝廷の影響力が強かった京都や西日本の動向を常時監視し、統制するためにこの役職が設置され、北条氏の有力者が任命されました。

問1 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた戦いの結果、幕府が朝廷の監視と西日本の統治を強化するために京都に設置した機関はどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|-------|----------|
| 1. 京都所司代 | 2. 鎌倉府 | 3. 侍所 | 4. 六波羅探題 |
|----------|--------|-------|----------|

問2 鎌倉時代後半に起きた「元寇」をめぐる歴史的背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 北条時宗は元軍を退けた後、恩賞として博多湾沿いの石の防壁周辺の土地を、手柄を立てた御家人たちに分け与えた。 | 2. 元軍の再来襲に備えて築かれた石の防壁は、九州沿岸だけでなく、鎌倉の海岸線一帯にも同様の規模で築かれた。 | 3. 八代執権の北条時宗は、フビライ・ハンからの臣下になる要求を拒否し、九州北部の防備を固めて元軍を迎え撃った。 | 4. 元寇による防衛指揮を通じて執権の権力は一時的に衰退し、足利尊氏による新しい武家政治が始まる直接のきっかけとなった。 |
|--|--|--|--|

問3 承久の乱の後、鎌倉幕府は朝廷の監視や西日本（西国）の武士を統制するために、京都に新しい役所を設置しました。この役所の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|---------|--------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 評定衆 | 3. 鎮西探題 | 4. 問注所 |
|----------|--------|---------|--------|

問4 鎌倉時代に栄西や道元によって広められた禅宗は、厳しい修行や座禅を通じて悟りを得ることを特徴としています。この教えが当時の武士たちの間で高く評価され、受け入れられた理由として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|---|--|--|
| 1. 加持祈祷によって現世での病氣平癒や一族の繁栄を約束したため | 2. 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるという、簡潔な教えだったため | 3. 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため | 4. 法華経こそが国を救う唯一の教えであると説き、幕府の権威を強固にしたため |
|----------------------------------|---|--|--|

問5 奈良時代の仏教から鎌倉時代の仏教への変遷と僧侶の活動について、その目的や背景を説明した文として正しいものを選択してください。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 行基が国家の許可なく民衆に布教したことは、のちの鎌倉時代に道元が戒律を厳格化する直接のきっかけとなった。 | 2. 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。 | 3. 道元が奈良時代に禅の教えを確立させたことで、平安時代以降の鑑真や行基による民衆救済の活動が活発になった。 | 4. 鑑真が伝えた戒律は武士の間で流行したが、鎌倉時代に入ると行基の影響を受けた道元が念仏を唱えることを重視した。 |
|---|--|---|---|

問6 13世紀、モンゴル帝国の皇帝が国号を「元」と定めて日本に従属を求める使者を送りましたが、当時の鎌倉幕府の執権はこれを拒絶する姿勢を貫きました。この時の執権として正しい人物を選んでください。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 北条時宗 | 2. 足利尊氏 | 3. 北条政子 | 4. チンギス・ハン |
|---------|---------|---------|------------|

問7 鎌倉時代において、源頼朝により荘園や公領に設置された武士の役職について述べた文として、正しいものはどれですか。この役職は、当初は土地の管理や年貢の徴収を任務としていましたが、次第に徴収した年貢を荘園領主に納めないといった行動をとり、土地そのものの支配を強めていきました。 (2018年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------|----------------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 1. 御家人の所領に関する訴訟を専門に扱った問注所 | 2. 土地の管理や年貢の徴収を行い、のちに土地の支配を強めた地頭 | 3. 執権を補佐し、幕府の政治全般を合議で決定した評定衆 | 4. 軍事・警察の権限を持ち、国ごとに置かれた守護 |
|---------------------------|----------------------------------|------------------------------|---------------------------|

問8 鎌倉時代の御家人の間で行われていた、父親の領地を複数の子に分けて引き継がせる仕組みについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この仕組みでは、世代を重ねるごとに個々の御家人が持つ領地が小さくなるという特徴がありました。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 領地が細分化されることで、農業の生産効率が劇的に向上した。 | 2. 長男のみがすべてを継ぐことで、一族の領地と勢力が維持された。 | 3. 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。 | 4. 幕府が領地を一度回収し、功績のある別の武士へ再分配した。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

問9 源平合戦の最終決戦である壇ノ浦の戦いが、その後の日本社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 平氏が滅亡したことで、政治の実権が貴族から武士へと移り、本格的な武家社会へと移行する大きな転換点となった。 | 2. この戦いによって源氏と平氏が和解し、公家と武士が共同で政治を行う公武合体の制度が確立された。 | 3. この戦いに勝利した平氏が、京都を中心にさらなる貴族的な政治を推し進め、古代の天皇中心の政治を強化した。 | 4. 戦いの舞台となった山口県において、毛利氏が強力な戦国大名として台頭し、中国地方全体の統一を成し遂げた。 |
|--|---|--|--|

問10 鎌倉時代の武士の家において一般的であった、親の所領を息子だけでなく娘にも分けて引き継がせる相続の方法を何というか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 惣領制 | 2. 単独相続 | 3. 永代売買 | 4. 分割相続 |
|--------|---------|---------|---------|

問11 鎌倉時代後半、二度にわたる元（モンゴル帝国）の侵攻を退けたあとの社会状況において、生活が苦しくなり土地を質入れたり売却したりした御家人を救済するために、幕府が発令した法令はどれか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 公事方御定書 | 3. 御成敗式目 | 4. 永仁の徳政令 |
|----------|-----------|----------|-----------|

問12 鎌倉幕府の組織において、執権の管理下に置かれた地方組織のうち、京都の警備や西日本の統治を担当し、承久の乱の後に重要性が増した機関の名称を選びなさい。 (2020年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|----------|-------|
| 1. 侍所 | 2. 問注所 | 3. 六波羅探題 | 4. 政所 |
|-------|--------|----------|-------|

問13 13世紀後半、モンゴル帝国の一部である「元」による二度の襲来（元寇）を受けた日本と、その後の元との関係について述べた記録として、歴史的な事実に基づいた正しい内容はどれか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 二度の襲来によって軍事的な緊張は高まったが、その後も民間レベルでの商人の往来は続き、貿易や文化の交流は維持された。 | 2. 元は日本との和平の条件としてキリスト教の布教を要求したため、これを受け入れた日本にポルトガルの宣教師が多数来日した。 | 3. 元の侵攻を退けた日本は、それ以降、中国大陸との一切の交流を断ち切り、ヨーロッパ諸国との大西洋貿易に専念した。 | 4. 日本は元の支配下に入り、長安を都とする帝国内の一州として組み込まれたことで、日本の伝統的な武士社会は崩壊した。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 六波羅探題	承久の乱で勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流し、朝廷の動きを厳しく監視するために六波羅探題を設置しました。これに加えて、朝廷側に味方した貴族や武士の領地を没収し、そこに東国の御家人を「地頭」として新たに任命したことで、幕府の支配力は西日本へも大きく広がることとなりました。
問2	答え 3 八代執権の北条時宗は、フビライ・ハンからの臣下になる要求を拒否し、九州北部の防備を固めて元軍を迎え撃った。	モンゴル帝国のフビライ・ハンは、日本に対して服属を求める使節を何度も送りましたが、鎌倉幕府の八代執権であった北条時宗はこれを拒否する姿勢を貫きました。時宗は、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防壁を築かせるなど、緊迫した状況下で九州北部の防衛拠点を強化しました。元寇の防衛に成功したものの、この戦争は防衛戦であったため幕府が得た新たな領土はなく、御家人に十分な恩賞を与えられなかったことが、その後の鎌倉幕府衰退の要因の一つとなりました。
問3	答え 1 六波羅探題	戦いに勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐（島根県）に流すと同時に、それまで支配が及びにくかった西国への影響力を強めました。京都の六波羅に設置されたこの役所は、朝廷を監視し、西国の所領争いを裁判するなど、幕府による全国的な支配体制を固める重要な役割を果たしました。
問4	答え 3 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため	禅宗は、念仏のように他者の力（他力）に頼るのではなく、自分の努力で精神を高める「自力」の教えです。死と隣り合わせで戦い、日々の自己鍛錬を欠かさなかった武士にとって、禅宗のストイックな精神性は非常に共感しやすいものでした。これが、のちの武士道などの精神形成にも影響を与えることとなります。
問5	答え 2 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。	奈良時代の仏教は「鎮護国家」の思想のもと、国家の平安を祈る性質が強く、鑑真による戒律の導入も、僧侶の質を維持し国家的な宗教制度を整える目的がありました。一方、鎌倉時代になると、不安な社会情勢の中で個人がどのように救われるかが重視されるようになり、道元は中国から伝えた禅（曹洞宗）によって、ひたすら座禅を組むという個人の修行のあり方を提示しました。行基は奈良時代に民衆への布教で活躍しましたが、道元とは活動した時代も目的も異なります。
問6	答え 1 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった北条時宗は、元の皇帝フビライ・ハンからの通告を無視、あるいは拒否し、九州沿岸の警備を強化して対決姿勢を鮮明にしました。これが1274年の「文永の役」へとつながります。チンギス・ハンはモンゴル帝国の初代皇帝であり、足利尊氏はのちに室町幕府を開く人物です。
問7	答え 2 土地の管理や年貢の徴収を行い、のちに土地の支配を強めた地頭	地頭は、平氏の旧領や源頼朝が認めた領地に設置されました。彼らは本来、荘園領主のために年貢を徴収し警察活動を行う立場でしたが、武力や実行使によって年貢を自分のものにしたたり、土地の実質的な支配権を奪ったりする動きを見せ、領主側との対立を深めました。
問8	答え 3 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。	鎌倉時代初期の武士社会では、子に領地を分けて相続させる「分割相続」が一般的でした。しかし、この方法では世代が交代するたびに1人あたりの領地が小さくなり、武士の経済基盤を弱める結果となりました。元寇の際に恩賞としての新しい領地が得られなかったことや、貨幣経済の浸透による出費の増大も重なり、多くの御家人が生活に困り、借金を抱えるなどの事態を招きました。これが幕府に対する不満へとつながり、鎌倉幕府が衰退する一因となりました。
問9	答え 1 平氏が滅亡したことで、政治の実権が貴族から武士へと移り、本格的な武家社会へと移行する大きな転換点となった。	壇ノ浦の戦いで平氏滅亡は、単なる一族の滅亡にとどまらず、それまで政治を主導していた「貴族社会」から、実力を持つ武士が統治する「武家社会」への歴史的転換を意味します。この後、源頼朝によって鎌倉幕府が開かれ、武士による独自の法律や土地支配が行われる中世という時代が形成されていくこととなります。
問10	答え 4 分割相続	鎌倉時代の武士の社会では、親の領地を複数の子供たちに分担して受け継がせる「分割相続」が広く行われていました。この制度の特徴は、男子だけでなく女子にも所領の一部が譲られる点にあります。これにより、女性が領主としての権利を持つことが認められていました。しかし、代を重ねるごとに一族の所領が細分化され、個々の武士の経済力が弱まる要因にもなりました。
問11	答え 4 永仁の徳政令	元寇（モンゴル侵攻）に従軍した御家人たちは、防衛戦であったために新たな領地を得られず、十分な恩賞を受け取ることができませんでした。一方で、軍費の負担や分割相続による領地の細分化により生活が困窮し、土地を失う者が続出しました。幕府はこれに対し、御家人が手放した土地を無償で取り戻させる「永仁の徳政令」を出して御家人の保護を図りました。御成敗式目は鎌倉時代前期の裁判基準であり、武家諸法度と公事方御定書は江戸時代に定められた法令です。
問12	答え 3 六波羅探題	鎌倉幕府の中央組織には軍事の侍所、政務の政所、裁判の問注所がありましたが、これとは別に地方組織として守護や地頭が置かれました。六波羅探題は、特に京都という重要な拠点を治めるために置かれた特別な地方機関です。承久の乱以前は京都守護と呼ばれていましたが、乱ののちに権限が大幅に強化され、六波羅探題となりました。
問13	答え 1 二度の襲来によって軍事的な緊張は高まったが、その後も民間レベルでの商人の往来は続き、貿易や文化の交流は維持された。	元による二度の日本侵攻（文永の役・弘安の役）は鎌倉幕府に大きな影響を与えましたが、日元間の交流が完全に途絶えたわけではありませんでした。年表などの資料にも、二度の襲来のあとも商人の間で貿易が続けられたことが記されており、寺院の建立費用をまかなうための貿易船が派遣されるなど、中国産の陶磁器や銅銭、禅宗の文化などが日本に流入し続けました。

- 問1 鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などに基づき、正しい内容を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。
 2. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。
 3. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。
 4. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。
- 問2 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げ、幕府軍に敗れた出来事について、この乱のあとに幕府が朝廷を監視し京都の警備を行うために設置した役職と、乱の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 承久の乱 ― 問注所
 2. 平治の乱 ― 評定衆
 3. 平治の乱 ― 六波羅探題
 4. 承久の乱 ― 六波羅探題
- 問3 承久の乱の戦後処理において、鎌倉幕府が西日本への統制を強めるために、没収した土地へ派遣した「東日本の武士」に与えられた役職として正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 地頭
 2. 評定衆
 3. 守護
 4. 六波羅探題
- 問4 馬を用いた運送業者である馬借が活動するなど、中世の経済が変化していく中で出された「永仁の徳政令」の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. 戦争のために必要な物資や労働力を、政府が強制的に動員できるようにした
 2. 全ての国民に対して、幕府が所有する土地を一律に分配し直した
 3. 外国船の来航を禁止し、国内の運送業者による独占的な貿易を認めた
 4. 御家人が借金の担保として手放した領地を、無償で取り戻せるようにした
- 問5 鎌倉幕府における「御恩と奉公」の制度について、武士が日常的に武芸の訓練に励んでいた背景を踏まえ、その具体的な義務の内容として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 戦時に軍勢として駆けつけるほか、交代で京都や鎌倉の警備にあたった
 2. 将軍から給与としてコメを受け取る代わりに、領地の管理のみを行った
 3. 幕府の許可を得て、外国との貿易による利益を将軍に献上した
 4. 朝廷から直接任命を受け、地方の警察権や裁判権を独占した
- 問6 鎌倉幕府が発令した「永仁の徳政令」が、その後の社会に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 全国の港で貿易が活発になり、宋銭に代わって幕府が新しく発行した独自の貨幣が広く流通するようになった。
 2. 御家人の地位が飛躍的に向上し、北条氏による執権政治が終わりを迎え、将軍が直接政治を行う体制が復活した。
 3. 貸し借りの契約が無効になると恐れられた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。
 4. 農民の不満が解消されて大規模な一揆が収まり、幕府による地方支配がこれまで以上に安定した。
- 問7 鎌倉幕府が置かれ、日蓮宗などの布教活動も盛んに行われた都市である鎌倉の地形や構造について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 大陸の都市計画を参考に、中央に天皇の住まいを置き、碁盤の目状に道路が整備された平城京のような構造である。
 2. 三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、中心部には鶴岡八幡宮から延びる若宮大路が配置されている。
 3. 広大な平地に位置し、堀や石垣で囲まれた武家屋敷と町人地が明確に区別された城下町の構造を持っている。
 4. 明との貿易などで栄えた港町であり、会合衆と呼ばれる有力な商人たちによって自治が行われていた。
- 問8 13世紀後半、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ侵攻してきた「元寇」の際、鎌倉幕府の最高責任者として、九州の御家人らへ軍役の指示を出し、京都や鎌倉の警備を指揮した人物は誰ですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 北条時宗
 2. 北条泰時
 3. フビライ・ハン
 4. 源頼朝
- 問9 鎌倉時代、元寇（蒙古襲来）に際して御家人に防御を命じるなど、国防に当たった執権の北条時宗は、禅宗を深く信仰していたことで知られています。この時代に成立した禅宗の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島の百濟から仏教が伝来した直後の時期であり、主に渡来人の一族によって信仰された。
 2. 奈良の東大寺に大仏を造営し、全国に国分寺を置くことで、国家の力で災いを取り除こうとした。
 3. 念仏を唱えれば誰もが極楽浄土へ行けると説く浄土信仰が、平安時代の貴族の間に広まったものである。
 4. 宋に渡った栄西や道元によって伝えられ、厳しい修行や座禅を重視する教えが武士の気風に受け入れられた。
- 問10 13世紀後半にモンゴル帝国（元）が二度にわたって日本に侵攻してきた「元寇」において、当時の日本の武士を驚かせた元軍の戦い方の特徴として正しいものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 一対一での名乗り合いを重視した戦法と、槍による接近戦
 2. 大型の帆船から大砲を打ち込む遠距離戦と、上陸後の伏兵戦
 3. 組織的な集団戦法と、火薬を用いた「てつほう」による攻撃
 4. 鉄砲を組織的に用いた一斉射撃と、騎馬隊による突撃
- 問11 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、武士社会の慣習をもとにして定めた、武士のための最初の体系的な法典を何といいますか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 武家諸法度
 2. 公事方御定書
 3. 建武式目
 4. 御成敗式目（貞永式目）
- 問12 13世紀に世界各地に大きな影響を与えたモンゴル帝国の支配領域に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. アメリカ大陸から大西洋を越え、西ヨーロッパの沿岸部までを勢力圏とした。
 2. 東アジアから中央アジアを経て、ヨーロッパ東部に至るまでを支配下に置いた。
 3. 地中海を囲む全域を支配し、ヨーロッパから西アジア、北アフリカまでを領土とした。
 4. インドから東南アジアの諸島部にかけて、海上交易路を独占する海洋帝国を築いた。
- 問13 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり、戦功に応じて新たな土地を与えたりする一方で、御家人が将軍のために軍役や番役を果たすことで成立していた主従関係を何といいますか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 封建制度
 2. 御恩と奉公
 3. 知行
 4. 寄進

答え合わせ・解説

問1	答え 1 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。	鎌倉時代、西日本から始まった二毛作は、農業生産力を飛躍的に高めました。これは夏に主食となる米を、冬には裏作として麦を育てる仕組みです。また、この時期には牛や馬に農具を引かせて田畑を深く耕す「牛馬耕」や、草木を焼いた灰を肥料にする「草木灰」の利用、灌漑用の水車の普及など、技術的な進歩が重なったことで中世の農業は大きく発展しました。選択肢にある石包丁は弥生時代、備中鍬は江戸時代、製糸業の近代化は明治時代以降の特徴であるため、時代背景が異なります。
問2	答え 4 承久の乱 ― 六波羅探題	源実朝の暗殺により源氏の将軍が途絶えた好機を狙い、後鳥羽上皇が倒幕の兵を挙げたのが承久の乱です。勝利した幕府は、二度と朝廷が反乱を起こさないよう監視を強化するため、京都に六波羅探題を設置しました。平治の乱は平安時代末期の出来事であり、問注所は訴訟を扱う機関です。
問3	答え 1 地頭	鎌倉幕府は承久の乱の後、没収した広大な土地の管理や年貢の徴収を行うため、多くの東日本の武士を「地頭」として西日本へ送り込みました。これにより、西日本の地域社会に幕府の勢力が深く入り込むことになりました。なお、京都の監視や朝廷との調整を担うために設置されたのは六波羅探題であり、土地に直接配置された役職とは区別が必要です。
問4	答え 4 御家人が借金の担保として手放した領地を、無償で取り戻せるようにした	1297年に出された永仁の徳政令では、御家人が借金の形として質に入れたり売却したりした領地について、一定の条件のもとで無償で元の持ち主に返すよう命じました。これにより、御家人の経済的基盤である土地を守ろうとしましたが、かえって金融業者が武士への貸し付けを拒むようになり、経済を混乱させる結果にもなりました。
問5	答え 1 戦時に軍勢として駆けつけるほか、交代で京都や鎌倉の警備にあたった	御家人は将軍から土地の支配を保証される（本領安堵）などの御恩に対し、命がけで戦う「いざ鎌倉」の精神による軍役や、京都の皇居の守護にあたる「京都大番役」といった警備の義務を果たしました。こうした背景から、武士は常に実戦を想定した武芸の訓練を欠かしませんでした。
問6	答え 3 貸し借りの契約が無効になると恐れた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。	徳政令によって借金が帳消しにされたことは、金を貸していた「借上（かしあげ）」などの業者にとっては大きな損失となりました。その結果、業者は再び徳政令が出されることを警戒して御家人への融資を拒むようになり、現金が必要な御家人は資金を借りられなくなってさらに窮乏しました。このように、法令は一時的な救済にはなりましたが、経済の仕組みを混乱させ、幕府に対する武士たちの信頼を失わせる原因の一つとなりました。
問7	答え 2 三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、中心部には鶴岡八幡宮から延びる若宮大路が配置されている。	鎌倉は、北・東・西の三方を山に、南を相模湾に囲まれた「天然の要塞」とも呼べる地形をしており、防御に適していたため幕府の拠点に選ばれました。都市の中心には、源頼朝が整備したとされる鶴岡八幡宮と、そこから海に向かって直線的に延びるメインストリートの若宮大路が配置されています。
問8	答え 1 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった北条時宗は、元の皇帝であるフビライ・ハンの服従要求を拒否し、文永の役・弘安の役の二度にわたる襲来に対して防衛体制を整えました。この際、幕府の権限を強め、九州に所領を持つ御家人たちに石築地（元寇防壁）の築設や警備を命じるなど、強力なリーダーシップを発揮しました。
問9	答え 4 宋に渡った栄西や道元によって伝えられ、厳しい修行や座禅を重視する教えが武士の気風に受け入れられた。	禅宗は、自分の力で悟りを開こうとする自力本願の性格が強く、座禅によって精神を鍛えるという教えが、命がけで戦う鎌倉武士の精神的支柱となりました。北条時宗も、中国から高僧を招くなどして禅を学び、国難である元寇に立ち向かう心の糧としました。他の選択肢は、仏教伝来の初期や、平安・奈良時代の仏教に関する記述です。
問10	答え 3 組織的な集団戦法と、火薬を用いた「てつほう」による攻撃	当時の日本の武士は、戦いの前に自分の名を名乗り、一対一で戦う「一騎打ち」が主流でしたが、元軍はドラの合図で組織的に動く集団戦法をとっていました。また、日本側がまだ知らなかった火薬を使用した兵器である「てつほう」を使い、その爆発音や熱で武士や馬を混乱させました。
問11	答え 4 御成敗式目（貞永式目）	鎌倉時代、承久の乱の後に武士同士の領地争いが増加したことを受け、裁判を公平に行うための基準が必要となりました。北条泰時は、それまでの貴族の法律（律令）ではなく、武家社会で培われてきた慣習を整理してこの法を制定しました。
問12	答え 2 東アジアから中央アジアを経て、ヨーロッパ東部に至るまでを支配下に置いた。	モンゴル帝国は強力な騎馬軍団を背景に、チンギス・ハンからその子孫にかけて急激に領土を広げました。その版図は中国を含む東アジアから、シルクロードが通る中央アジアを越え、現在のロシアやウクライナ、ポーランドを含むヨーロッパ東部まで到達しました。この広大な領土によって東西の交通が保障され、ヒト・モノ・情報の活発な往来が可能となりました。
問13	答え 2 御恩と奉公	鎌倉幕府の基盤となったこの仕組みは、土地を媒介とした双方向の契約関係です。将軍が与える恩恵を「御恩」、御家人が果たす義務を「奉公」と呼び、この強い結びつきが武士社会の秩序を支えました。

- 問1 1232年に北条泰時が制定した御成敗式目について、この法律が制定された目的と内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
- 生活に困窮した武士を救済するため、売却された領地を無償で取り戻す権利を認めるため
 - 鎌倉幕府の将軍による独裁体制を確立し、執権の権限を制限するため
 - 律令を強化し、朝廷の公家や寺社が持つ特権を武士にも等しく与えるため
 - 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため
- 問2 鎌倉時代に一遍によって開かれた仏教の宗派は、念仏を唱えながら踊る独特の布教方法で民衆に広く普及しました。この宗派の名称として正しいものを次の中から選んでください。
(2023年 福井県公立入試 類似)
- 法華宗
 - 時宗
 - 浄土真宗
 - 浄土宗
- 問3 鎌倉時代後半、元軍の襲来（元寇）に備えた軍役負担などで生活が苦しくなった御家人を救済するため、鎌倉幕府が借金を帳消しにし、売却したり質に入れたりした土地を無償で取り戻させた命令を何とといいますか。
(2021年 岡山県公立入試 類似)
- 武家諸法度
 - 公事方御定書
 - 慶安の御触書
 - 徳政令
- 問4 マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介したことが後の歴史に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 和歌山県公立入試 類似)
- コロンブスが大西洋を渡って東洋を目指す際の大きな動機となった。
 - 日本がキリスト教の布教拠点として、ヨーロッパで広く認知される理由となった。
 - ポルトガルが日本を占領するために、即座に軍隊を派遣する直接の原因となった。
 - 当時の元の皇帝フビライ・ハンが、日本への軍事遠征（元寇）を決定する最大の根拠となった。
- 問5 鎌倉時代に成立した新仏教の一つである時宗（じしゅう）の開祖について、全国を巡り、「南無阿弥陀仏」の念仏を唱えれば誰でも救われると説き、踊りながら念仏を唱える独自の手法で武士や農民、商工業者にまで教えを広めた人物は誰ですか。
(2019年 長野県公立入試 類似)
- 栄西
 - 一遍
 - 親鸞
 - 日蓮
- 問6 鎌倉時代には一遍が「踊り念仏」を広め、日蓮が「法華経の題目」を唱えることを説くなど、新しい仏教が次々と誕生しました。これらの鎌倉新仏教が共通して持っていた特徴や、民衆に普及した理由として最も適切な説明を選びなさい。
(2022年 福島県公立入試 類似)
- 山の中での厳しい修行や、高度な学問を修めることのみが救いへの道であると説いた。
 - 国家の保護を受け、巨大な寺院を建立して鎮護国家の祈禱を行うことを重視した。
 - 文字が読めない民衆でも実践できるような、簡潔で分かりやすい教えを説いた。
 - 遣唐使として中国へ渡り、最新の文化や制度を日本に導入することを目的に活動した。
- 問7 歴史の学習カードに、鎌倉時代に中国の宋へ渡り、座禅によって悟りを開く教えを日本に伝えた代表的な人物についてまとめられています。この二人の人物の組み合わせとして正しいものはどれか、次の中から選びなさい。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
- 一遍と日蓮
 - 法然と親鸞
 - 最澄と空海
 - 栄西と道元
- 問8 武士として初めて政治の実権を握った平氏が、従来の貴族のように土地（荘園）からの収入だけに頼らず、日宋貿易を積極的に推進した最大の理由として、当時の社会背景を踏まえた説明はどれですか。
(2022年 鳥取県公立入試 類似)
- キリスト教の布教を認める代わりに、最新の武器である鉄砲や火薬を優先的に手に入れるため
 - 宋との軍事同盟を強化することで、対する源氏を武力ではなく外交によって制圧するため
 - 大陸との貿易で得られる莫大な利益を、一門の軍事力や政治力を維持するための経済的基盤にするため
 - 国内の金や銀が不足していたため、宋から金や銀を輸入して国内の財政を立て直すため
- 問9 日本の歴史における時代区分のうち、弥生時代や平安時代などの「古代」と、江戸時代を指す「近世」の間に位置する区分を何と呼ぶか。この区分には、武士による政治が本格化した鎌倉時代や室町時代が含まれる。
(2021年 秋田県公立入試 類似)
- 原始
 - 戦国
 - 中世
 - 近現代
- 問10 後鳥羽上皇が『新古今和歌集』の編纂を命じた時期の政治的な背景について、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 香川県公立入試 類似)
- 足利尊氏を征夷大将軍に任命し、武家政権の安定を図ろうとしていた。
 - 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。
 - 源頼朝と協力して、武士と公家が協調する新しい政治体制を築こうとしていた。
 - 平氏を滅ぼした直後の混乱を収めるため、仏教の力による国づくりを目指していた。
- 問11 日本史における宗教や文化の変遷について、古いものから順に正しく並んでいる組み合わせを選びなさい。
(2024年 熊本県公立入試 類似)
- 白河上皇が春日大社に参詣した → 鑑真が唐から来日し唐招提寺を建立した → 運慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作した
 - 運慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作した → 白河上皇が春日大社に参詣した → 鑑真が唐から来日し唐招提寺を建立した
 - 鑑真が唐から来日し唐招提寺を建立した → 運慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作した → 白河上皇が春日大社に参詣した
 - 鑑真が唐から来日し唐招提寺を建立した → 白河上皇が春日大社に参詣した → 運慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作した
- 問12 鎌倉時代に宋から日本へ伝えられた「禅宗」は、それまでの仏教と異なり、座禅による修行を通じて自分自身の力で悟りを開こうとするものでした。この禅宗のうち、福井県に永平寺を建てて「曹洞宗」を広めた人物として正しいものは誰ですか。
(2021年 山口県公立入試 類似)
- 親鸞
 - 栄西
 - 道元
 - 一遍
- 問13 13世紀にモンゴル帝国（元）を訪れたベネチア出身の商人で、帰国後にアジア各地の見聞を『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめ、ヨーロッパの人々に東洋への強い関心を持たせた人物は誰ですか。
(2026年 茨城県公立入試 類似)
- コロンブス
 - ルター
 - マゼラン
 - マルコ・ポーロ
- 問14 中世の仏教の特色についてまとめられた解説文において、新しい仏教は「修行方法が簡素であったため、人々の心をとらえていった」と記されています。この「修行方法」の内容として、当時の民衆に受け入れられた具体的な姿を説明したものを選びなさい。
(2018年 長野県公立入試 類似)
- 山にこもり、数年間にわたって断食や読経を繰り返す学問中心の修行。
 - 海外へ渡航し、数十年かけて新しい経典を日本に持ち帰ることを目的とした修行。
 - 都市部に大規模な寺院を建立し、そこでのみ行われる複雑な儀式に参加する修行。
 - 「南無阿弥陀仏」や「南無妙法蓮華経」と唱えたり、ひたすら座禅を組んだりする修行。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため	承久の乱の後、地頭の補任が増えたことで、貴族や寺社と武士との間で領地をめぐる紛争が急増しました。これに対し、執権の北条泰時は、道理やそれまでの武士社会の慣習を基準とした明確な裁判の基準を示すことで、不公平な判決をなくし、武士たちの不満を解消しようとした。当初は借金の帳消し（徳政）などを目的としたものではありません。
問2	答え 2 時宗	一遍が鎌倉時代後半に開いた宗派です。一遍は特定の寺院に定住せず、全国を旅して回る「遊行」を行いながら教えを説きました。そのため、一遍は「遊行上人」とも呼ばれます。他の選択肢の浄土宗は法然、浄土真宗は親鸞、法華宗（日蓮宗）は日蓮によって開かれました。
問3	答え 4 徳政令	鎌倉時代の御家人は、元との戦いにおいて自費で武器や食料を調達して戦いましたが、恩賞として与えられる土地が不足していたため、生活が非常に困窮しました。土地を切り売りして借金に苦しむ御家人が増えたことは、幕府の軍事力の低下に直結するため、幕府は借金をリセットして土地を返還させるこの命令を出しました。1297年の「永仁の徳政令」がその代表例です。
問4	答え 1 コロンブスが大西洋を渡って東洋を目指す際の大きな動機となった。	「ジパングの王宮は金で覆われている」といった記述は、ヨーロッパの人々の間に東洋の富に対する強い憧れを植え付けました。特にコロンブスはこの内容を信じて日本や中国を目指し、結果としてアメリカ大陸に到達するなど、大航海時代を切り拓く原動力の一つとなりました。
問5	答え 2 一遍	鎌倉時代には民衆の不安に応える新しい仏教が次々と誕生しました。一遍は時宗の開祖であり、特定の修行や難しい学問を必要とせず、ただ念仏を唱えることで救われると説きました。この教えを広めるために全国を行脚し、「踊念仏」という親しみやすい形式を取り入れたことで、身分を問わず幅広い層に受け入れられました。
問6	答え 3 文字が読めない民衆でも実践できるような、簡潔で分かりやすい教えを説いた。	鎌倉時代は、戦乱や飢饉によって社会が不安定であり、救いを求める民衆が増加していました。一遍の踊り念仏や日蓮の題目を唱えるといった教えは、従来の平安仏教のような複雑な理論や厳しい修行を必要とせず、誰にでも実行可能な「平易な行」であったため、急速に広まりました。一方、空海などが開いた平安仏教は、主に貴族の現世利益や国家の安寧を祈る性質が強いものでした。
問7	答え 4 栄西と道元	栄西は宋に渡って臨済宗を伝え、建仁寺を建立しました。一方、道元も宋で修行し、帰国後に曹洞宗を伝えて永平寺を開きました。この二人は、いずれも座禅を重視する教えを広めた中心人物として教科書等で併記されることが一般的です。
問8	答え 3 大陸との貿易で得られる莫大な利益を、一門の軍事力や政治力を維持するための経済的基盤にするため	平清盛は、それまでの公家が重視していた土地の支配による収入だけでなく、海外貿易による商業的な利益に注目しました。宋との貿易で得た富を背景に、急速に中央政界での地位を固め、平氏一門による独裁的な政権を築き上げることができました。なお、鉄砲の伝来は戦国時代であり、当時はまだ伝来していません。
問9	答え 3 中世	日本の歴史を大きな流れで捉えた際、鎌倉幕府の成立から室町幕府の滅亡（または安土桃山時代の終焉）までの期間は「中世」と定義される。これは、天皇や貴族が政治の中心であった古代と、兵農分離が進み幕藩体制が確立された近世を繋ぐ時代であり、武士が社会の主導権を握り始めたことが大きな特徴である。
問10	答え 2 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。	鎌倉時代初期、武家政権である鎌倉幕府が力を強める中で、後鳥羽上皇は朝廷の権威を象徴する文化事業として勅撰和歌集の編纂を行いました。このような朝廷中心の政治を目指す動きは、のちに幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」へとつながっていきます。
問11	答え 4 鑑真が唐から来日し唐招提寺を建立した → 白河上皇が春日大社に参詣した → 運慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作した	奈良時代の8世紀、唐から苦難の末に来日した鑑真が戒律を伝えるために唐招提寺を建立しました。平安時代後期の11世紀には、院政を始めた白河上皇が藤原氏ゆかりの春日大社へ参詣するなど、皇族による寺社への信仰が盛んになりました。その後、鎌倉時代の13世紀には、東大寺の復興事業において運慶らによって写実的で力強い金剛力士像が制作されました。これらはそれぞれ、奈良・平安・鎌倉の各時代を代表する文化的事象です。
問12	答え 3 道元	鎌倉時代には、宋（中国）に渡って学んだ僧たちによって新しい仏教が伝えられました。道元は曹洞宗の開祖であり、ひたすら座禅に打ち込む「只管打坐（しかんたざ）」を重んじ、永平寺を拠点として活動しました。一方、同じ禅宗でも、幕府の保護を受けて武士の間に広まった臨済宗の開祖は栄西です。親鸞は浄土真宗、一遍は時宗の開祖であり、これらは禅宗とは異なる浄土教系の宗派です。
問13	答え 4 マルコ・ポーロ	モンゴル帝国のフビライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロは、アジア各地の文化や社会の様子を口述し、それが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられました。この書物は当時のヨーロッパにおいて未知の世界であったアジアの情報を伝える貴重な史料となり、後の大航海時代への伏線となりました。
問14	答え 4 「南無阿弥陀仏」や「南無妙法蓮華経」と唱えたり、ひたすら座禅を組んだりする修行。	浄土宗や浄土真宗の「念仏」、日蓮宗の「題目」、禅宗（臨済宗・曹洞宗）の「座禅」のように、鎌倉新仏教は一つの動作に絞ったわかりやすい修行を提示しました。このような「信仰のしやすさ」が、戦乱や飢饉で不安を抱えていた民衆や、新しい支配層となった武士のニーズに合致しました。

- 問1 1185年に源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の荘園や公領ごとに配置した、土地の管理や年貢の取り立て、警察活動などを行う役職を何といいますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 検非違使 2. 守護 3. 執権 4. 地頭
- 問2 承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、敗れた朝廷の監視や京都の警備、および西日本における支配を強化するために、新たに京都の拠点へ配置した役職として適切なものを選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 執権 2. 問注所 3. 鎮西探題 4. 六波羅探題
- 問3 鎌倉時代に宋から日本へ伝えられた仏教の一派で、座禅という修行によって自分自身の力で悟りを開くことを重視し、当時の武士たちに広く受け入れられた宗派は何ですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 禅宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 日蓮宗
- 問4 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵をあげた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて京都の警備や西国の統轄を行うために、京都に新たに設置した機関はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 侍所 2. 六波羅探題 3. 問注所 4. 政所
- 問5 鎌倉時代の農業技術や制度について説明した資料において、当時の生産力を向上させた要因として説明される「二毛作」の内容として正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 同じ土地において、1年のうちに米とそれ以外の作物を組み合わせて2回栽培すること。 2. 同じ作物を1年に2回、同じ田んぼで収穫できるように品種改良を行うこと。 3. 2年間にわたって同じ土地を休ませ、土壌の肥沃さを回復させてから耕作を行うこと。 4. 1つの大きな耕地を半分に分け、半分で稲作、もう半分で畑作を同時に行うこと。
- 問6 鎌倉幕府において、将軍と主従関係を結んだ武士を何と呼びますか。また、彼らが地方の軍事・警察の職務を担うために、国ごとに置かれた役職として正しい組み合わせを選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 足軽と国司 2. 御家人と守護 3. 足軽と守護 4. 御家人と地頭
- 問7 鎌倉時代、二度にわたる元（モンゴル帝国）の襲来（元寇）に対し、鎌倉幕府が博多湾の海岸沿いで行った防衛策の説明として、最も適切なものはどれか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 元軍の上陸を困難にするため、石塁（防塁）と呼ばれる石垣を築いた 2. 北方の警備と開拓を兼ね、現地に屯田兵を派遣して防衛にあたらせた 3. 海岸線に高い木柵を並べ、火薬を用いた武器（てつほう）を防いだ 4. 大宰府を防衛するため、水城や大野城といった大規模な城を築いた
- 問8 13世紀後半、モンゴル帝国のフビライ・ハンが国号を改め、2度にわたって日本の九州地方へと侵攻してきた中国の王朝を選びなさい。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 宋 2. 隋 3. 元 4. 明
- 問9 1221年、鎌倉幕府の三代将軍である源実朝が暗殺された後の政治的混乱に乗じ、幕府を倒して朝廷の権力を取り戻そうと兵を挙げた人物として正しい人名を選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇 2. 後鳥羽上皇 3. 白河上皇 4. 後白河法皇
- 問10 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝であるフビライ・ハンに長年仕えたイタリア出身の旅行家で、帰国後にアジア各地の情勢を「東方見聞録」としてまとめた人物は誰ですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 北条泰時 2. イブン・バットウータ 3. ヴァスコ・ダ・ガマ 4. マルコ・ポーロ
- 問11 13世紀後半、鎌倉幕府が「元仁の徳政令」を出した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を独占し、大量に流入した宋銭の流通を制限することで、物価の安定と幕府の財政再建を図るため。 2. 全国的な飢饉による農民の反乱を防ぐため、年貢の減免を約束し、公家や寺社の所有する土地を強制的に再分配するため。 3. 戦国大名の勢力が拡大する中で、幕府の権威を回復するために、有力な武士たちに忠誠を誓わせる新たな行動規範を定めるため。 4. 二度にわたる元軍の侵攻を防いだものの、十分な恩賞を与えられず、貨幣経済の浸透により生活が困窮した御家人を救済するため。
- 問12 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、一二三二年に制定した法令について述べた文として正しいものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。 2. 戦国大名が自分の領国内をより効率的に統治するために、独自に定めた「分国法」と呼ばれる法律の総称である。 3. 元軍の侵攻のあと、恩賞を十分に得られず生活が困窮した御家人の借金を帳消しにするために制定された法律である。 4. 朝廷の律令制度を完全に否定し、天皇や貴族にも幕府の支配を徹底させるために作られた全国統一の法典である。
- 問13 12世紀後半、日宋貿易によって中国との交流が盛んになる中で、僧の栄西が宋から伝えた仏教の一派があります。幕府の保護を受けて武士層を中心に広まり、座禅などの修行を重視したこの宗派の名称として適切なものを選んでください。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 浄土真宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 臨済宗
- 問14 鎌倉時代、承久の乱のあとに領地をめぐる争いが増えたことを受け、三代執権の北条泰時が制定した武家独自の法律を何といいますか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 建武の新政 2. 御成敗式目（貞永式目） 3. 十七条の憲法 4. 武家諸法度
- 問15 鎌倉時代には、中国（宋）から新しい仏教の宗派が伝えられました。そのうち、座禅を修行の基本とする禅宗について、開祖とその宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 聖武天皇が国分寺を建立し、仏教による国家の安定を図った。 2. 栄西が曹洞宗を伝え、道元が臨済宗を開いた。 3. 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。 4. 最澄が天台宗を伝え、空海が真言宗を開いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地頭	鎌倉時代、源頼朝は弟の義経を捕らえることを名目に、全国に守護と地頭を置く権限を朝廷に認めさせました。地頭は特に土地の実務的な管理や年貢の取り立てを担い、幕府が地方へ支配を広げる大きな基盤となりました。
問2	答え 4 六波羅探題	乱の結果、幕府は朝廷側の領地を没収して御家人たちに分け与え、西日本への支配力を急速に強めました。それまで朝廷の影響力が強かった京都や西日本の動向を常時監視し、統制するためにこの役職が設置され、北条氏の有力者が任命されました。
問3	答え 1 禅宗	鎌倉時代には、それまでの貴族中心の仏教とは異なり、武士や民衆の生活に即した新しい仏教が生まれました。栄西や道元が日宋貿易の活発化とともに中国の宋から伝えたこの教えは、念仏などの他力本願ではなく、自らの修行によって真理に到達しようとする自力の姿勢を特徴としています。
問4	答え 2 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで以上に朝廷に対する支配力を強める必要がありました。そのために設置されたのが六波羅探題であり、北条氏の有力者がその職に就いて、朝廷の動向を厳しく監視するとともに、西日本の武士たちの統制にあたりました。
問5	答え 1 同じ土地において、1年のうちに米とそれ以外の作物を組み合わせて2回栽培すること。	二毛作は、灌漑（かんがい）技術の向上によって土地の水分調節が可能になったことで広まりました。鎌倉時代には、主に夏の米の裏作として、冬に麦などが作られました。これによって土地を効率的に利用できるようになり、食料生産が大幅に増加しました。1年に2回同じ作物を育てることは「二期作」と呼び、二毛作とは区別されます。
問6	答え 2 御家人と守護	鎌倉幕府の組織において、将軍に忠誠を誓った武士は御家人と呼ばれました。将軍は彼らに対し、所領の支配を認めたり、新たに土地を与えたりする「御恩」を与え、御家人はそれに対して軍役などの「奉公」を行いました。幕府の地方組織として、国ごとに置かれた守護は軍事や警察の役割を、荘園や公領ごとに置かれた地頭は年貢の徴収や土地の管理を担当しました。
問7	答え 1 元軍の上陸を困難にするため、石塁（防塁）と呼ばれる石垣を築いた	一度目の襲来である文永の役（1274年）の後、鎌倉幕府は次の襲来に備えて、博多湾の海岸沿いに約20kmにわたる「石塁（防塁）」を築かせました。この強固な石垣によって、二度目の弘安の役（1281年）では元軍の上陸を阻むことに成功し、防衛において大きな役割を果たしました。水城や大野城は白村江の戦い後（飛鳥時代）の防衛策、屯田兵は明治時代の北海道開拓に関わる制度です。
問8	答え 3 元	チンギス・ハンの孫であるフビライ・ハンが建国した王朝です。1274年の文永の役、1281年の弘安の役という2回の元寇（モンゴル襲来）により、日本へ大規模な軍勢を送り込みましたが、暴風雨や武士の抵抗により退却しました。
問9	答え 2 後鳥羽上皇	源氏の正統が途絶えたことを好機と捉えた朝廷側が挙兵しましたが、北条政子が御家人たちに対し、初代将軍・源頼朝以来の「御恩」を説いて団結を促したことで、幕府側が圧倒的な勝利を収めました。敗れた上皇は隠岐島（島根県）へ流されることとなりました。
問10	答え 4 マルコ・ポーロ	ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元（モンゴル帝国）を訪れてフビライ・ハンに重用されました。彼がアジアでの見聞を記した「東方見聞録」は、当時のヨーロッパの人々に東アジアへの関心を抱かせる大きなきっかけとなりました。選択肢にあるイブン・バットウータは14世紀のイスラム世界の旅行家、北条泰時は日本の鎌倉幕府第3代執権です。
問11	答え 4 二度にわたる元軍の侵攻を防いだものの、十分な恩賞を与えられず、貨幣経済の浸透により生活が困窮した御家人を救済するため。	鎌倉時代後半、元寇（モンゴル襲来）での防衛戦は恩賞となる獲得領地がなかったため、御家人は出兵費用の負担で困窮しました。さらに貨幣経済の広がりにより、領地を質に入れたり売却したりする者が増えたため、幕府は御家人の救済を目的として徳政令を発布しました。選択肢にある「武家諸法度」などは江戸時代の制度であり、背景が異なります。
問12	答え 1 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地の地頭と荘園領主（公家や寺社）の間で土地をめぐる紛争が激増しました。北条泰時は、武士たちに理解しやすく、かつ公平な裁判の基準を設けるために「御成敗式目」を制定しました。これは律令（公家法）とは異なり、武士の社会で行われていた慣習や「道理」を基準とした点が画期的でした。
問13	答え 4 臨済宗	栄西が宋から伝えたのは臨済宗です。鎌倉時代には日宋貿易を通じて新しい仏教が日本に流入しましたが、臨済宗は特に幕府との結びつきを強め、後の五山文化の発展にも寄与しました。浄土宗は法然、浄土真宗は親鸞、時宗は一遍が開いた宗派であり、これらは念仏を唱えることで救われるとする教えで、禅宗とは特徴が異なります。
問14	答え 2 御成敗式目（貞永式目）	北条泰時は、武士社会でそれまで積み重ねられてきた「ならわし」や道徳を基に、裁判の基準を明確にするためにこの法律を制定しました。これは武士が自分の手で、武士のために作った最初の本格的な法律です。聖徳太子が定めた「十七条の憲法」や、江戸時代に大名を統制するために出された「武家諸法度」とは、制定された時代や目的が異なります。
問15	答え 3 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗には、大きく分けて二つの流れがあります。栄西は臨済宗を伝え、幕府の保護を受けて武士の間に広まりました。一方、道元は曹洞宗を伝え、越前（福井県）に永平寺を建立して、ひたすら座禅に打ち込む修行を重んじました。最澄や空海は平安時代初期の僧であり、国分寺の建立は奈良時代の出来事です。

- 問1 鎌倉時代、社会の混乱や自然災害が続く中で成立した鎌倉新仏教の一つで、日蓮によって開かれた宗派について説明した文として正しいものを選択してください。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 自分の罪を自覚した悪人こそが救済の対象であるとする「悪人正機」を説いた。 | 2. 法華経を最高の經典とし、その題目を唱えることで救われると説いた。 | 3. 座禅によって自ら悟りを開くことを重視し、幕府の保護を受けて発展した。 | 4. 阿弥陀如来の力を信じ、念仏を唱えれば極楽浄土へ行けると説いた。 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問2 鎌倉時代、将軍と主従関係を結んだ武士である御家人は、将軍から所領の支配を認められるなどの恩恵を受ける代わりに、幕府に対して軍役や番役を果たす義務を負いました。このような、土地の重層的な支配関係に基づく武士の義務を何といいますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. 封建制度 | 2. 参勤交代 | 3. 下剋上 | 4. 奉公 |
|---------|---------|--------|-------|
- 問3 13世紀、モンゴル帝国の皇帝フビライ・ハンが日本に対して2度にわたる大規模な遠征を行った背景や経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本が南宋を支援して元に宣戦布告したため、フビライ・ハンが報復として兵を送ったため。 | 2. チンギス・ハンが日本を黄金の国ジパングと呼び、領土拡大の最初の目標に設定したため。 | 3. 元と結んだ足利尊氏が、後醍醐天皇の軍勢を討伐するために援軍を要請したため。 | 4. 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。 |
|---|--|--|--|
- 問4 一遍が興した時宗が、当時の社会において多くの民衆に受け入れられた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---|---|-----------------------------------|
| 1. 山の中での厳しい修行を重視し、精神を鍛えることを説いたため。 | 2. 念仏を記したお札を配り、踊りを取り入れるなど、親しみやすい手法を用いたため。 | 3. 朝廷や幕府の有力者と結びつき、大規模な寺院を建立することを優先したため。 | 4. 坐禅によって自分の力で悟りを開く、自力の教えを強調したため。 |
|-----------------------------------|---|---|-----------------------------------|
- 問5 鎌倉時代中期、当時の巨大帝国であった元が日本に服従を求めてきた際、その要求を拒絶し、幕府の最高責任者である執権として大規模な防衛体制を敷いた人物は誰ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 足利尊氏 | 2. 北条時宗 | 3. 北条時政 | 4. 源頼朝 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問6 源頼朝が地頭を設置したことによって、武士による社会支配が強まった背景として、地頭の役割を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国ごとに国内の武士を統率し、京都の大番役の催促や謀反人の搜索を主な任務とした。 | 2. 荘園や公領での土地の管理や、年貢の徴収、治安維持といった実務を担い、武士の経済的基盤を固めた。 | 3. 幕府の最高責任者として、将軍を補佐しながら政治の実権を握り、連署とともに幕政を運営した。 | 4. 室町幕府において将軍の補佐役を務め、有力な守護大名の中から選ばれて政治を統括した。 |
|--|--|---|--|
- 問7 現在の山口県下関市の南端に位置する壇ノ浦は、源平合戦の最後の舞台となった地です。この地で平氏が滅亡するまでの様子を記した物語の名称と、その作品の種類として正しい組み合わせはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 太平記 — 軍記物語 | 2. 平家物語 — 軍記物語 | 3. 土佐日記 — 日記文学 | 4. 源氏物語 — 作り物語 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
- 問8 平安時代末期において、白河上皇が天皇の位をゆずったのちも御所で政治を行った政治形態を何というか、最も適切な名称を次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 親政 | 2. 院政 | 3. 摂関政治 | 4. 武家政治 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問9 日蓮宗は、他の鎌倉新仏教の宗派と比較して、当時の政治や社会に対してどのような姿勢をとっていたことが特徴ですか。その背景を含めて説明したものとして適切なものを選択してください。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 貴族や皇室との結びつきを強めることで、旧仏教の勢力と協力して新しい国家秩序を作ろうとした。 | 2. 個人の内面的な安心のみを追求し、幕府の政治や外交問題には関与しない姿勢をとった。 | 3. 法華経を正しく信仰しなければ内乱や外国の侵略が起こると主張し、幕府に対して強く政策を提言した。 | 4. 特定の經典を持たず、師から弟子への直接的な悟りの伝承を重視したため、政治的な発言は行わなかった。 |
|--|---|--|---|
- 問10 13世紀後半、モンゴル帝国(元)の皇帝であるフビライ・ハンが日本に対して臣従を求める使節を送ってきましたが、当時の鎌倉幕府はこの要求を拒否しました。その後、二度にわたる大規模な軍事侵攻を受けることとなりますが、この危機の際に九州北部の防衛などを指揮した、幕府の最高責任者である執権は誰ですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 北条政子 | 2. 北条高時 | 3. 北条泰時 | 4. 北条時宗 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 13世紀、チンギス・ハンの孫であるフビライ・ハンが、モンゴル帝国の拠点を現在の北京にあたる大都に移し、中国全土を支配して定めた王朝名は何か。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 隋 | 2. 宋 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|
- 問12 日本の歴史区分において、平安時代の後に続き、鎌倉時代から室町時代(戦国時代を含む)までを指す区分として、最も適切な名称は何ですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 近代 | 2. 近世 | 3. 中世 | 4. 古代 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 13世紀、モンゴル帝国の皇帝が国号を「元」と定めて日本に従属を求める使者を送りましたが、当時の鎌倉幕府の執権はこれを拒絶する姿勢を貫きました。この時の執権として正しい人物を選んでください。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 足利尊氏 | 2. チンギス・ハン | 3. 北条政子 | 4. 北条時宗 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問14 中世の文化の特徴を示した資料において、鎌倉時代に武士の間で広まった、座禅によって悟りを開こうとする仏教の一派を何と呼びますか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 1. 禅宗 | 2. 時宗 | 3. 浄土真宗 | 4. 日蓮宗 |
|-------|-------|---------|--------|
- 問15 鎌倉時代の対外関係についてまとめられた資料によると、13世紀に大陸で勢力を広げたモンゴル帝国は、国号を「元」と改め、日本を含む周辺諸国に従属を求めました。この時の元の皇帝であり、二度にわたる日本への襲来を主導した人物は誰ですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| 1. フビライ=ハン | 2. 北条時宗 | 3. チンギス=ハン | 4. 足利尊氏 |
|------------|---------|------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 法華經を最高の經典とし、その題目を唱えることで救われると説いた。	鎌倉時代に日蓮が開いた日蓮宗（法華宗）は、大乘仏教の經典である「法華經（妙法蓮華經）」を究極の教えとし、「南無妙法蓮華經」という題目を唱える（唱題）ことで、個人だけでなく国家も救われると説きました。選択肢にある念仏は浄土宗や浄土真宗、座禅は禅宗（臨済宗・曹洞宗）、悪人正機は浄土真宗（親鸞）の特徴です。
問2	答え 4 奉公	将軍と御家人の間には「御恩と奉公」と呼ばれる主従関係がありました。将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり（本領安堵）、手柄に対して新しい領地を与えたりすることを「御恩」といいます。これに対し、御家人が「いざ鎌倉」という際の軍役や、京都や鎌倉を警護する番役などを務めることが「奉公」にあたります。
問3	答え 4 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。	フビライ・ハンは中国大陆の南宋を完全に征服する前に、日本を元の勢力圏に組み込もうとして、繰返し使者を送って服属（朝貢）を迫りました。しかし、当時の鎌倉幕府の執権・北条時宗はこれらの要求を黙殺・拒否し、対戦の準備を進めたため、武力衝突である元寇へと発展しました。選択肢にあるチンギス・ハンは元の建国者ですが、日本遠征を指揮したのはフビライ・ハンです。
問4	答え 2 念仏を記したお札を配り、踊りを取り入れるなど、親しみやすい手法を用いたため。	鎌倉新仏教の大きな目的は「民衆の救済」にありました。一遍は全国を巡りながら、信者であるかどうかにかかわらず念仏を記したお札（賦算）を配り、踊念仏を通じて信仰を喜びとして表現する場を作りました。このような、知識の有無や貧富の差に関係なく誰でも参加できる開かれた姿勢が、戦乱や飢饉に苦しむ当時の民衆の心に深く響いたのです。
問5	答え 2 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権である北条時宗は、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンからの通告を断固として拒否しました。日本史上最大の危機の一つとされる元寇に対し、九州の警備を強化する「異国警固番役」を設置するなど、武士を統率して防衛を指揮しました。
問6	答え 2 荘園や公領での土地の管理や、年貢の徴収、治安維持といった実務を担い、武士の経済的基盤を固めた。	地頭は、単なる兵士としてではなく、土地の管理権と年貢の徴収権という経済的な権限を与えられた点が重要です。これにより、鎌倉幕府は御家人（将軍と主従関係を結んだ武士）に対して土地の支配権を保障する「本領安堵」を実効性のあるものにでき、武家社会の安定につながりました。
問7	答え 2 平家物語 ― 軍記物語	壇ノ浦の戦いなどの実際の合戦を題材に、武士の活躍や悲劇を描いた文学作品は軍記物語と呼ばれます。平氏の滅亡を描いた『平家物語』はその代表例であり、鎌倉時代に成立しました。
問8	答え 2 院政	天皇が位をゆずって上皇となり、政治を行った形態を院政といいます。11世紀後半に白河上皇が始めたのが始まりです。
問9	答え 3 法華經を正しく信仰しなければ内乱や外国の侵略が起こると主張し、幕府に対して強く政策を提言した。	日蓮は著書『立正安国論』の中で、当時の飢饉や疫病、そして元（モンゴル）の侵略の危機は、人々が正法である法華經を信じないために起こると説きました。このように、個人の救済だけでなく「国家の安泰」を強く訴え、他宗を厳しく批判したため、幕府から流罪などの弾圧を受けることもありましたが、独自の強い信念が武士や商工業者に受け入れられました。
問10	答え 4 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった人物に関する問題です。1274年の文永の役、1281年の弘安の役という二度の元寇（モンゴル襲来）に際し、フビライ・ハンの要求を退けて防衛体制を整えました。北条泰時は御成敗式目を定めた第3代執権、北条高時は幕府滅亡時の執権であり、混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 3 元	チンギス・ハンによって建国されたモンゴル帝国は、5代皇帝フビライ・ハンの代に、国号を中国風の「元」と改めました。元は南宋を滅ぼして中国全土を支配し、ユーラシア大陸にまたがる広大な帝国を築きました。
問12	答え 3 中世	日本の歴史では、一般に鎌倉幕府の成立から室町幕府の滅亡までを中世と呼びます。平安時代までを「古代」、織田信長や豊臣秀吉が登場する安土桃山時代から江戸時代までを「近世」と呼び、社会の仕組みや支配層の違いによって区別されています。
問13	答え 4 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった北条時宗は、元の皇帝フビライ・ハンからの通告を無視、あるいは拒否し、九州沿岸の警備を強化して対決姿勢を鮮明にしました。これが1274年の「文永の役」へとつながります。チンギス・ハンはモンゴル帝国の初代皇帝であり、足利尊氏はのちに室町幕府を開く人物です。
問14	答え 1 禅宗	鎌倉時代には、それまでの貴族的な仏教とは異なる、民衆や武士に向けた新しい仏教が誕生しました。その中でも、栄西や道元によって伝えられた禅宗は、自分の力で悟りを目指す点が、自らの力で土地を守り抜く武士の精神に受け入れられ、日本文化に深い影響を与えました。
問15	答え 1 フビライ＝ハン	モンゴル帝国を拡大させ、国号を中国風の「元」と定めたのは第5代皇帝のフビライ＝ハンです。彼は都を大都（現在の北京）に移し、高麗を服属させた後、日本に対しても朝貢（貢物を持って挨拶に来ること）を求めました。北条時宗は当時の日本の執権、足利尊氏はのちの室町幕府の創始者です。

- 問1 鎌倉時代、宋から伝えられた新しい仏教の一つで、特定の經典や念仏よりも、座禅を組み自分自身を見つめ直す修行を通じて悟りを開こうとする宗派を何といいますか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 浄土真宗 2. 日蓮宗 3. 浄土宗 4. 禅宗
- 問2 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵をあげた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて京都の警備や西国の統轄を行うために、京都に新たに設置した機関はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 政所 2. 六波羅探題 3. 問注所 4. 侍所
- 問3 鎌倉時代、源頼朝が全国の庄園や公領に設置した役職で、土地の管理や年貢の徴収、およびその地域の警察活動を担ったものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 地頭 2. 守護 3. 老中 4. 管領
- 問4 鎌倉時代の中期以降、多くの御家人が経済的に困窮し、先祖伝来の土地を質に入れたり売り払ったりする状況が見られるようになりました。この背景にある当時の相続の仕組みと、それが御家人に与えた影響について説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 所領を複数の子や孫に分けて継承させる分割相続が行われた結果、代を重ねるごとに一族一人あたりの土地が細分化され、収入が減少した。 2. 元寇の恩賞として与えられた新しい土地が、相続の際に幕府によって没収される制度があったため、御家人の領地が減少した。 3. 土地を一人の長子のみが継承する単独相続が義務付けられたため、相続から外れた多くの子弟が耕作地を失い、浮浪化した。 4. 貨幣経済が浸透したことで、土地をすべて金銭に換えてから相続する制度が普及し、物価の変動によって資産価値が目減りした。
- 問5 11世紀末から13世紀にかけて断続的に行われた十字軍の遠征は、日本の歴史におけるどの時期の出来事と重なりますか。当時の日本の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 遣隋使や遣唐使の派遣が盛んに行われ、大陸の進んだ文化を取り入れながら律令国家が形成されていた時期にあたる。 2. 足利義満が金閣を建立して日明貿易を推進し、室町文化が花開いていた時期にあたる。 3. キリスト教が日本に伝来し、織田信長や豊臣秀吉によって天下統一が進められていた時期にあたる。 4. 平安時代末期の院政期から、鎌倉幕府の成立を経て、蒙古襲来（元寇）が起こった時期にあたる。
- 問6 日本の歴史区分における「中世」の政治的な特徴と、その期間の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 武士が政治の主導権を握り、幕府が統治を行った、鎌倉時代から室町時代まで 2. 織田信長や豊臣秀吉、徳川氏による全国統一が行われた、安土桃山時代から江戸時代まで 3. 天皇や貴族による律令国家体制が確立された、奈良時代から平安時代まで 4. 明治維新によって天皇中心の政治が再建され、欧米の制度が導入された明治時代以降
- 問7 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で地頭と荘園領主との間の紛争が急増しました。これに対し、3代執権の北条泰時が、御家人同士や地頭と領主の争いを公平に裁くための基準として1232年に制定した、武士独自の法を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 建武式目 2. 公事方御定書 3. 十七条の憲法 4. 御成敗式目（貞永式目）
- 問8 鎌倉時代に一遍がひらいた時宗が、当時の京都などの都市部で多くの民衆を惹きつけ、広く普及した理由を説明したものととして、最も適切な記述はどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 法華経を信じ、南無妙法蓮華経の題目を唱えることこそが、国を救う唯一の方法であると説いたから 2. 幕府の有力な武士たちに支持され、禅宗のように寺院を建立して厳しい修行を行うことを重視したから。 3. 自分の罪を自覚した「悪人」こそが阿弥陀如来によって救われるという、独自の深い教理を強調したから。 4. 念仏の札を配る活動に加え、念仏を唱えながら踊るという、視覚的・体感的にも分かりやすい方法で布教を行ったから。
- 問9 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府が朝廷の監視や西日本の武士を統制するために京都に設置した、地方機関の名前とその役割として適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 京都守護：将軍の京都滞在を支援し、天皇の護衛を行う 2. 六波羅探題：朝廷を監視し、西国の裁判や警備を行う 3. 政所：京都の財政を管理し、貴族の生活を統制する 4. 問注所：京都で発生した武士と貴族の間の裁判を専門に扱う
- 問10 鎌倉時代、承久の乱の後に三代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた日本初の武家法律を何といいますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 公事方御定書 3. 御成敗式目 4. 建武式目
- 問11 鎌倉時代、平氏一族の繁栄から滅亡までの過程を描いた「平家物語」は、ある人々が楽器を奏でながら語り歩くことによって広く民衆に伝わりました。この物語を語り広めた人々と、この作品が属する文学ジャンルの組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 念仏僧 — 軍記物語 2. 琵琶法師 — 軍記物語 3. 白拍子 — 物語文学 4. 琵琶法師 — 随筆
- 問12 1232年、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時が、武士社会で行われてきた慣習を整理し、裁判の公平な基準とするために定めた最初の武士の法律を何というか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 武家諸法度 3. 御成敗式目 4. 公事方御定書
- 問13 鎌倉幕府における将軍と御家人の主従関係の仕組みについて、その特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。 2. 血縁関係にある一族のみが将軍に従い、他の武士はすべて農民として扱われる関係であった。 3. 将軍が御家人に毎月一定の貨幣を支給し、御家人が役所での事務作業に従事する関係であった。 4. 寺院や神社に寄進された土地の管理を、将軍が御家人に委託することで成り立つ関係であった。
- 問14 鎌倉時代に、東大寺南大門の再建や金剛力士像の制作に見られるような、力強く写実的な文化が発展した背景として、当時の社会状況を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 全国的な内乱が収束し、幕府が莫大な予算を投じて貴族的な豪華な装飾を推奨したため 2. 南蛮貿易を通じて西洋の絵画技法が伝わり、解剖学に基づいた表現が普及したため 3. 遣唐使の廃止に伴い、大陸の影響を脱して日本独自の繊細な美意識が完成されたため 4. 武家政権の確立により、武士の素朴で質実剛健な価値観が重んじられるようになったため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 禅宗	栄西や道元によって宋から伝えられた禅宗は、自らの力で修行に励む「自力」の教えを特徴としています。これは、念仏を唱えて阿弥陀如来に救いを求める「他力」の教えである浄土宗などとは対照的ですが、精神修養を重んじる姿勢が当時の武士の気風に合致し、鎌倉幕府の保護を受けて発展しました。
問2	答え 2 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで以上に朝廷に対する支配力を強める必要がありました。そのために設置されたのが六波羅探題であり、北条氏の有力者がその職に就いて、朝廷の動向を厳しく監視するとともに、西日本の武士たちの統制にあたりました。
問3	答え 1 地頭	源頼朝は1185年に、朝廷から守護・地頭の設置を認められました。地頭は、個々の庄園や公領ごとに置かれ、現地で年貢の徴収や土地の管理を行うとともに、地域の治安維持を担当しました。一方、守護は国ごとに置かれ、主に軍事や警察の職務を担いました。
問4	答え 1 所領を複数の子や孫に分けて継承させる分割相続が行われた結果、代を重ねるごとに一族一人あたりの土地が細分化され、収入が減少した。	鎌倉時代の武士社会では、子孫に所領を分けて譲る「分割相続」が一般的でした。しかし、代を重ねるごとに個々の御家人が所有する土地の面積は小さくなり、生活基盤が弱体化していきました。そこに元寇（蒙古襲来）による軍役負担や、貨幣経済の普及による支出の増大が重なったことで、御家人の窮乏は決定的なものとなりました。
問5	答え 4 平安時代末期の院政期から、鎌倉幕府の成立を経て、蒙古襲来（元寇）が起こった時期にあたる。	十字軍の遠征が始まった11世紀末は、日本では白河上皇が院政を開始した時期と重なります。その後、12世紀末に鎌倉幕府が成立し、遠征の終盤にあたる13世紀後半には元寇が発生しています。世界史における中世ヨーロッパの大きな動乱と、日本における武士の台頭から武家政権の確立までの時期はほぼ並行しています。
問6	答え 1 武士が政治の主導権を握り、幕府が統治を行った、鎌倉時代から室町時代まで	鎌倉時代と室町時代を合わせた期間を指します。この時代は、将軍と御家人が土地の支配を媒介に結びつく「御恩と奉公」の関係など、武家社会特有の仕組みが政治の基盤となりました。これは、それ以前の貴族中心の政治から大きな転換点となっています。
問7	答え 4 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西日本の朝廷側の領地に地頭を任命するなど、その支配力を全国へと広げました。しかし、地頭の勢力拡大にともない、土地の境界や年貢の納入をめぐるトラブルが多発したため、北条泰時は武士の慣習や「道理」を基準とした公平な裁判を行うためにこの法を定めました。これは武士による最初の体系的な法律です。
問8	答え 4 念仏の札を配る活動に加え、念仏を唱えながら踊るとい、視覚的・体感的にも分かりやすい方法で布教を行ったから。	一遍が広めた踊念仏の様子を描いた当時の記録からは、身分を問わず膨大な数の人々が周囲に集まり、賑わっている状況がわかります。文字を読めない民衆にとっても、念仏の札を受け取ることや、集団で踊るという活動は非常に親しみやすく、参加しやすいものでした。このような「賦算（ふさん）」と「踊念仏」という実践的な布教スタイルが、当時の社会状況において強い説得力を持った背景があります。
問9	答え 2 六波羅探題：朝廷を監視し、西国の裁判や警備を行う	承久の乱によって朝廷に対して優位に立った鎌倉幕府は、再び朝廷が反乱を起こさないよう監視を強める必要がありました。そこで、それまでの京都守護を廃止して新たに六波羅探題を設置し、朝廷の監視に加えて、西日本の御家人の統制や裁判、警備を担わせることで、全国的な支配を確実なものにしました。
問10	答え 3 御成敗式目	鎌倉幕府の三代執権である北条泰時は、武士の間で土地をめぐる争いが増えたことを背景に、公平な裁判を行うための基準を設けました。これが日本初の武家独自の法律となり、貞永元年に制定されたことから「貞永式目」とも呼ばれます。江戸時代の武家諸法度や公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 2 琵琶法師 — 軍記物語	鎌倉時代には、武士の活躍や戦乱の様子をテーマにした軍記物語が数多く作られました。その代表作である平家物語は、琵琶を弾きながら物語を語る「琵琶法師」と呼ばれる人々によって、文字を読めない人々も含めた幅広い層に普及しました。選択肢にある随筆の代表例としては、同時期に鴨長明が記した『方丈記』などがあります。
問12	答え 3 御成敗式目	北条泰時が執権であった時代に、御家人同士の領地争いなどを公平に裁くための基準として制定されました。それまでの朝廷の法律（律令など）ではなく、武士の社会で守られてきた道徳や慣習を文書化したもので、後の時代の武士の法律の規範となりました。
問13	答え 1 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。	鎌倉時代の主従関係は、土地を通じたギブ・アンド・テイクの関係です。将軍が御家人の土地支配を保証する「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という言葉に象徴されるように、有事の際の軍役や、京都・鎌倉の警備（番役）といった「奉公」で応えました。このような土地を媒介とした主従関係を封建制度の特徴として捉えることができます。
問14	答え 4 武家政権の確立により、武士の素朴で質実剛健な価値観が重んじられるようになったため	文化の特色は、その時代の社会の担い手の価値観を反映します。平安時代の貴族中心の社会から、鎌倉時代の武士中心の社会へと変化したことで、貴族的な優雅さよりも、実力主義の武士に好まれる力強さ、たくましさ、ありのままの姿を尊ぶ「写実的」な気風が文化全般に影響を与えました。